平成 30 年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	電子入札・契約管理システムの運用

所管課	45	管財課	（総務部）

事業の目的	・入札における透明性の向上と競争性の確保 物理的な距離の制約にとらわれることなく入札に参加が可能で、応札機会が拡大する。 ・事務の効率化 業務の自動化により、事務の効率化を図れる。 ・建設コストの縮減 発注者の元に出向く必要性が減少する。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	2	総務費
項	1	総務管理費
目	1	一般管理費
細目	1	本庁一般管理費

根拠条例等	宇陀市契約規則・宇陀市物品購入等に係る競争入札の参加資格等に関する要綱 宇陀市建設工事等に係る競争入札の参加資格等に関する要綱
総合計画	基本計画　第3章　第6節　情報通信基盤の整備

H30年度事業の概要	平成29年度に導入した電子入札システムの利用料　6,338千円
事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）	・公共工事の入札に係る適正な執行及び工事における品質の確保 電子入札の適用範囲（ランク別）を段階的に拡大し、全ての入札（役務・物品を除く。）において導入することで、入札に係る適正な執行と透明性の向上、競争性の確保のほか、事務の効率化を図ることができる。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	130
一般財源	6,208
H30予算額	6,338
H29 当初予算額	5,153
H29 現計予算額	5,153
増減額	1,185

事　業　の　コ　ス　ト	平成28年度（実績）	平成29年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）		5,153
従事職員数【人工】		1.20
人件費（人工×8,000千円）		9,600
総事業費：人件費含む（千円）		14,753
【活動指標の根拠】 総合計画(行政評価) ・ 総合戦略 ・ その他(　　)		
活動指標名		
活動指標の算式		
活動指標の実績(見込)	単位	単位
単位当たりコスト　（円）		

特定財源の状況
雑入（設計図書負担金）　130千円

備考	＜予算案のポイント＞ 【重点事業】 6.改革改善プロジェクト (3)その他の行政改革

平成 30 年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	宇陀市PR番組放送委託事業

所管課	44	秘書広報情報課（総務部）

事業の目的	本市の住みやすさや自然の豊かさ、桜等の開花情報、夏祭り、秋祭り等の観光情報を盛り込んだ動画を自主放送で制作し、テレビ放送やSNS等による発信を行うことにより、宇陀市の魅力をPRすることで市の知名度アップ、観光振興等につなげる。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	2	総務費
項	1	総務管理費
目	2	文書広報費
細目	1	文書広報費

根拠条例等	
総合計画	基本計画　第6章　第1節　市民と行政の協働のまちづくり

H30年度事業の概要	奈良テレビ放送番組「ゆうドキッ！」内コーナー「いきいきまちだより」（毎週金曜日放送）で放送する。 県内各市情報番組は奈良テレビで制作するが、当市は自主放送において動画を制作することができる特性を活かし自主放送で動画を制作し、奈良テレビ放送番組で放映する。 また、年間を通じてイベント開催情報等のデータ放送も行う。 動画　1～2回（90秒／回）／ 月 静止画2～3回（30秒／回）／ 月 データ放送　（週1回更新）／ 年間を通じ視聴可能 放送用加工料及び電波料　68,666円／月×12ヵ月＝823,997円
事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）	（目標） 本市の住み良さや豊かさ、観光情報等を積極的にPRすることにより交流人口の増加が期待できる。また、当市の魅力を市内外の方に認識していただく事により、定住先を探している方に選択する際の参考としていただく。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	824
H30予算額	824
H29当初予算額	824
H29現計予算額	824
増減額	

事　業　の　コ　ス　ト	平成28年度（実績）	平成29年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）	824	824
従事職員数【人工】	0.20	0.10
人件費（人工×8,000千円）	1,600	800
総事業費：人件費含む（千円）	2,424	1,624
【活動指標の根拠】 総合計画（行政評価）・ 総合戦略 ・ その他（　　）		
活動指標名	放映回数	
活動指標の算式	動画1～2回/年・静止画2～3回/年・データ放送1回/週	
活動指標の実績(見込)	106 単位 回	106 単位 回
単位当たりコスト　（円）	22,868	15,321

特定財源の状況

備考	＜予算案のポイント＞ 【重点事業】 1.にぎわいづくり創造プロジェクト [観光振興 宇陀市の歴史的文化的資産の活用] (8)宇陀市PR番組放送委託事業

平成 30 年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	奈良交通バス運行対策費負担金

所管課	81	企画課	（企画財政部）

事業の目的	市民の移動手段の確保と利便性の向上を図ることを目的とする。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	2	総務費
項	1	総務管理費
目	4	企画費
細目	1	本庁企画費

根拠条例等	
総合計画	基本計画　第3章　第3節　公共交通機関の充実

H30年度事業の概要	民間バス事業者が運行するバス路線のうち、赤字路線について運行経費の補助を行う。 大宇陀線　7,115千円 桜井菟田野線　2,220千円 古市場線　6,159千円 榛原東吉野線　311千円 都祁榛原線　835千円 榛原ネオポリス線　16,146千円
事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）	民間バス路線を維持することにより、市民の移動手段を確保できる。 【H28利用者数】 奥宇陀線　17,746人 大宇陀線　214,206人 桜井菟田野線　34,429人 古市場線　49,772人 榛原東吉野線　31,587人 都祁榛原線　43,227人 榛原ネオポリス線　161,839人 民間バス路線を維持することにより、市民の移動手段の確保や利便性の向上のみならず、交流人口の増加、商業や観光振興に寄与する。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	32,786
H30予算額	32,786
H29 当初予算額	37,112
H29 現計予算額	37,112
増減額	▲ 4,326

事　業　の　コ　ス　ト	平成28年度（実績）	平成29年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）	31,135	37,112
従事職員数【人工】	0.20	0.20
人件費（人工×8,000千円）	1,600	1,600
総事業費：人件費含む（千円）	32,735	38,712

【活動指標の根拠】 総合計画（行政評価） ・ 総合戦略 ・ その他（　　）

活動指標名	利用者数					
活動指標の算式	―					
活動指標の実績(見込)	552,806	単位	人	550,000	単位	人
単位当たりコスト　（円）	59			70		

特定財源の状況

備考	＜予算案のポイント＞ 【重点事業】 5.市民安心安全プロジェクト [暮らしの安心] (1)地域公共交通の確保

平成 30 年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	ほっとバス錦運営協議会補助事業

所管課	81	企画課	（企画財政部）

事業の目的	市民の移動手段の確保と利便性の向上を図ることを目的とする。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	2	総務費
項	1	総務管理費
目	4	企画費
細目	1	本庁企画費

根拠条例等	宇陀市廃止路線代替バス運行対策事業補助金交付要綱
総合計画	基本計画　第3章　第3節　公共交通機関の充実

H30年度事業の概要	三重交通バス安部田線の廃止に伴う交通手段確保のため、名張～室生龍口間を運行しているほっとバス錦運営協議会に補助を行う。
事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）	平成28年度利用者数　利用者数　6,791人 1日平均　28.1人（運行日数 242日） 路線バスを維持することにより、市民の移動手段の確保や利便性の向上のみならず、交流人口の増加、商業や観光振興に寄与する。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	500
H30予算額	500
H29 当初予算額	500
H29 現計予算額	500
増減額	

事　業　の　コ　ス　ト	平成28年度（実績）	平成29年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）	500	500
従事職員数【人工】	0.05	0.05
人件費（人工×8,000千円）	400	400
総事業費：人件費含む（千円）	900	900
【活動指標の根拠】 総合計画（行政評価）・ 総合戦略 ・ その他（　　）		
活動指標名	利用者数	
活動指標の算式	―	
活動指標の実績(見込)	6,791 単位 人	7,500 単位 人
単位当たりコスト　（円）	133	120

特定財源の状況

備考	＜予算案のポイント＞ 【重点事業】 5.市民安心安全プロジェクト [暮らしの安心] (1)地域公共交通の確保

平成 30 年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	奥宇陀わくわくバス運行事業

所管課	81	企画課	（企画財政部）

事業の目的	宇陀市・曽爾村・御杖村の持続可能な地域公共交通ネットワークの再構築（特に路線バス奥宇陀線の維持・確保）を図るため、地域公共交通の活性化及び再生に関する法律及び道路運送法に基づき、3市村が主体となり、奈良県、公共交通事業者、地域住民等と連携して協議会を組織し、宇陀地域における地域公共交通を確保・維持する。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	2	総務費
項	1	総務管理費
目	4	企画費
細目	1	本庁企画費

根拠条例等	道路運送法、地域公共交通の活性化及び再生に関する法律
総合計画	基本計画　第3章　第3節　公共交通機関の充実

H30年度事業の概要	市村連携コミュニティバス運行に係る協議会負担金 運行経費見込額 21,356千円－県補助金見込額 8,533千円 ＝市村負担見込額 12,823千円 宇陀市負担額　5,912千円　（宇陀市負担割合 46.1%） 事務費負担額　30千円
事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）	平成29年10月から、奈良交通㈱が運行していた奥宇陀線を市村連携コミュニティバスに移行し現在に至る。 宇陀市と宇陀郡を結ぶ重要な公共交通として将来にわたり持続可能な運行を図る。また、貨客混載の社会実験を実施するなどの取り組みを行っている。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	5,942
H30予算額	5,942
H29 当初予算額	30
H29 現計予算額	10,765
増減額	5,912

事　業　の　コ　ス　ト	平成28年度（実績）	平成29年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）	30	10,765
従事職員数【人工】	0.50	0.50
人件費（人工×8,000千円）	4,000	4,000
総事業費：人件費含む（千円）	4,030	14,765
【活動指標の根拠】 総合計画（行政評価） ・ 総合戦略 ・ その他（　　）		
活動指標名	乗車人数	
活動指標の算式	―	
活動指標の実績(見込)	単位	17,000　単位　人
単位当たりコスト　（円）		869

特定財源の状況

備考	＜予算案のポイント＞ 【重点事業】 5.市民安心安全プロジェクト [暮らしの安心] (1)地域公共交通の確保

平成 30 年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	榛原大野線運行事業

所管課	81	企画課	（企画財政部）

事業の目的	公共交通廃止路線の代替手段として有償バスを運行し、市民の移動手段の確保と利便性の向上を図ることを目的とする。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	2	総務費
項	1	総務管理費
目	4	企画費
細目	3	代替バス運行事業費

根拠条例等	宇陀市代替バス事業に関する条例
総合計画	基本計画　第3章　第3節　公共交通機関の充実

H30年度事業の概要	奈良交通が撤退したバス路線の代替として、宇陀市役所と室生地域事務所間で市営有償バスを運行する。 ○運行便数：10便／日 ○使用料　・一区間利用の場合　大人180円　小人 90円 ・二区間以上の場合　大人350円　小人180円
事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）	奈良交通の撤退したバス路線の代替として、市営有償バスを運行することにより、市民の移動手段の確保や利便性の向上のみならず、交流人口の増加、商業や観光振興に寄与する。 【平成28年度】 年間利用者数　2,079人

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	720
国　費	3,840
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	▲ 717
H30予算額	3,843
H29 当初予算額	3,841
H29 現計予算額	3,841
増減額	2

事業のコスト	平成28年度（実績）	平成29年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）	3,746	3,841
従事職員数【人工】	0.10	0.10
人件費（人工×8,000千円）	800	800
総事業費：人件費含む（千円）	4,546	4,641
【活動指標の根拠】 総合計画（行政評価）・ 総合戦略 ・ その他（　　）		
活動指標名	利用者数	
活動指標の算式	―	
活動指標の実績(見込)	2,079 単位 人	2,200 単位 人
単位当たりコスト　（円）	2,187	2,110

特定財源の状況
シャトルバス使用料　720千円 地域公共交通確保維持改善事業費補助金　3,840千円

備考	＜予算案のポイント＞ 【重点事業】 5.市民安心安全プロジェクト [暮らしの安心] (1)地域公共交通の確保

平成 30 年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	大宇陀南部線運行事業

所管課	81	企画課	（企画財政部）

事業の目的	公共交通廃止路線の代替手段として有償バスを運行し、市民の移動手段の確保と利便性の向上を図ることを目的とする。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	2	総務費
項	1	総務管理費
目	4	企画費
細目	23	大宇陀南部線運行事業費

根拠条例等	宇陀市代替バス事業に関する条例
総合計画	基本計画　第3章　第3節　公共交通機関の充実

H30年度事業の概要	奈良交通のバス撤退路線の代替として、宇陀市大宇陀南部地域で市営有償バスを運行する。 〇運行便数：6便／日 〇使用料 ・一区間利用の場合 大人130円　小人　50円 ・二区間以上の場合 大人250円　小人100円
事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）	奈良交通の撤退したバス路線の代替として、市営有償バスを運行することにより、市民の移動手段の確保や利便性の向上のみならず、交流人口の増加、商業や観光振興に寄与する。 【平成28年度】 年間利用者数　4,085人

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	750
国　費	
県　費	
市　債	
その他	400
一般財源	3,593
H30予算額	4,743
H29当初予算額	4,701
H29現計予算額	4,701
増減額	42

事　業　の　コ　ス　ト	平成28年度（実績）	平成29年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）	4,394	4,701
従事職員数【人工】	0.10	0.10
人件費（人工×8,000千円）	800	800
総事業費：人件費含む（千円）	5,194	5,501
【活動指標の根拠】 総合計画（行政評価）・ 総合戦略 ・ その他（　　）		
活動指標名	利用者数	
活動指標の算式	―	
活動指標の実績(見込)	4,085 単位 人	4,300 単位 人
単位当たりコスト　（円）	1,271	1,279

特定財源の状況

循環バス使用料　750千円
雑入（地元協力金）　400千円

備考	＜予算案のポイント＞ 【重点事業】 5.市民安心安全プロジェクト [暮らしの安心] (1)地域公共交通の確保

平成 30 年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	公共交通空白地有償運送事業補助金（らくらくバス）

所管課	81	企画課	（企画財政部）

事業の目的	菟田野地域内の公共交通空白地域及び奈良交通路線バスが廃止された大宇陀地域の一部において交通手段の確保を図ることを目的とする。

宇陀市一般会計予算

区分	No.	区分名
款	2	総務費
項	1	総務管理費
目	4	企画費
細目	40	菟田野地域事務所企画費

根拠条例等	「菟田野らくらくバス」運行事業補助金交付要綱
総合計画	基本計画　第3章　第3節　公共交通機関の充実

H30年度事業の概要

宇陀市社会福祉協議会が事業主体となっている過疎地有償運送事業（らくらくバス）に対して補助金を交付する。

運行便数：5便／日
使用料：1回当たり200円（大人・子ども共）

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

利用者の大半が高齢者であり、買い物や通院の手段として地域の人々には無くてはならない交通手段となっている。また、奈良交通の廃止路線の代替として運行することで大宇陀地域と菟田野地域の市民の移動手段が確保できている。

平成28年度	
運行日数	243日
年間利用者数	1,013人
運行便数	5便／日

財源の内訳　（単位：千円）

分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	2,479
H30予算額	2,479
H29 当初予算額	2,479
H29 現計予算額	2,479
増減額	

事　業　の　コ　ス　ト	平成28年度（実績）	平成29年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）	2,436	2,479
従事職員数【人工】	0.05	0.05
人件費（人工×8,000千円）	400	400
総事業費：人件費含む（千円）	2,836	2,879
【活動指標の根拠】 総合計画（行政評価）・ 総合戦略 ・ その他（　　）		
活動指標名	利用者数	
活動指標の算式	―	
活動指標の実績(見込)	1,013 単位 人	980 単位 人
単位当たりコスト　（円）	2,800	2,938

特定財源の状況

備考
＜予算案のポイント＞
【重点事業】
5.市民安心安全プロジェクト
[暮らしの安心]
(1)地域公共交通の確保

平成 30 年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	デマンド型乗合タクシー運行事業

所管課	81	企画課	（企画財政部）

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	2	総務費
項	1	総務管理費
目	4	企画費
細目	82	デマンド型乗合タクシー運行事業費

事業の目的

室生地域の公共交通廃止路線の代替手段としてデマンド型乗合タクシーを運行し、市民の移動手段の確保と利便性の向上を図ることを目的とする。

根拠条例等	宇陀市デマンド型乗合タクシーの運行に関する条例
総合計画	基本計画　第3章　第3節　公共交通機関の充実

H30年度事業の概要

路線バスや診療所バスが廃止された室生地域において、デマンド型乗合タクシーを運行する。
〇運行便数：6便／日
〇使用料
・同一エリア　300円
・複数エリア　500円

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

奈良交通の撤退したバス路線の代替として、デマンド型乗合タクシーを運行することにより、市民の移動手段の確保や利便性の向上のみならず、交流人口の増加、商業や観光振興に寄与する。
【平成28年度】
運行日数　244日
年間利用者数　3,668人
運行便数　2,168便

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	2,097
国　費	
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	9,721
H30予算額	11,818
H29 当初予算額	11,818
H29 現計予算額	11,818
増減額	

事　業　の　コ　ス　ト	平成28年度（実績）	平成29年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）	7,647	11,818
従事職員数【人工】	0.40	0.40
人件費（人工×8,000千円）	3,200	3,200
総事業費：人件費含む（千円）	10,847	15,018
【活動指標の根拠】 総合計画（行政評価）・ 総合戦略 ・ その他（　　）		
活動指標名	利用者数	
活動指標の算式	―	
活動指標の実績(見込)	3,668 単位 人	4,000 単位 人
単位当たりコスト　（円）	2,957	3,755

特定財源の状況

デマンド型乗合タクシー使用料
2,097千円

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
5.市民安心安全プロジェクト
[暮らしの安心]
(1)地域公共交通の確保

平成 30 年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	集会所等コミュニティ施設整備事業補助金

所管課	41	総務課	（総務部）

事業の目的	住民相互のコミュニティづくりの拠点である集会施設の適正な管理等に対する支援を行う。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	2	総務費
項	1	総務管理費
目	7	自治振興費
細目		

根拠条例等	宇陀市集会所コミュニティ施設整備事業補助金交付要綱他
総合計画	基本計画　第6章　第1節　市民と行政の協働のまちづくり

H30年度事業の概要	自治会等のコミュニティ活動の拠点となる施設の新築、改修に対し事業費の一部を補助する。 〇補助額　新築・改築→事業費の1/2以内の額 （単一自治会の場合、上限10,000千円） 増築・改修→事業費30万円以上で事業費の1/2以内の額（上限2,000千円） 〇事　業　新築　1件　10,000千円 改修　4件　2,366千円
事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）	地域における住民の自主的な活動の拠点としての集会所等の新築等に対して支援を行うことで、市民の福祉の増進とふれあい豊かな地域社会の育成を図る。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	11,600
その他	
一般財源	766
H30予算額	12,366
H29 当初予算額	10,847
H29 現計予算額	10,847
増減額	1,519

事　業　の　コ　ス　ト	平成28年度（実績）	平成29年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）	11,629	10,847
従事職員数【人工】	0.25	0.25
人件費（人工×8,000千円）	2,000	2,000
総事業費：人件費含む（千円）	13,629	12,847
【活動指標の根拠】 総合計画（行政評価）・ 総合戦略 ・ その他（　　）		
活動指標名	交付件数	
活動指標の算式	―	
活動指標の実績(見込)	3 単位 件	2 単位 件
単位当たりコスト　（円）	4,543,000	6,423,500

特定財源の状況
過疎対策事業債　11,600千円

備考	＜予算案のポイント＞ 【重点事業】 3.住みよい地域創造プロジェクト (7)集会所等コミュニティ施設整備事業補助金

平成 30 年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	自治会掲示板設置事業補助金

所管課	41	総務課	（総務部）

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	2	総務費
項	1	総務管理費
目	7	自治振興費
細目		

事業の目的	自治会のコミュニティ活動の円滑な推進を図るため、自治会が行う掲示板設置事業に対して、予算の範囲内において補助金を交付する。
根拠条例等	宇陀市自治会掲示板設置事業補助金交付要綱
総合計画	基本計画　第6章　第3節　地域力の再生
H30年度事業の概要	自治会が設置管理する掲示板について事業費の一部を補助する。 1基あたり 〇新設・建替の場合　事業費の1／2（5万円を限度） 〇既設掲示板の修繕　事業費の1／2（2万円を限度）
事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）	自治会活動において、行政等からの回覧文書等の広報活動については自治会長を通じて自治会員に回覧していただいている。 しかし、全員に回覧される場合には時間を要することから、多数の方がご覧になれる掲示板は有効な広報手段であると考える。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	820
H30予算額	820
H29 当初予算額	1,380
H29 現計予算額	1,380
増減額	▲ 560

事　業　の　コ　ス　ト	平成28年度（実績）	平成29年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）	829	1,380
従事職員数【人工】	0.08	0.08
人件費（人工×8,000千円）	640	640
総事業費：人件費含む（千円）	1,469	2,020
【活動指標の根拠】 総合計画（行政評価）・ 総合戦略 ・ その他（　　）		
活動指標名	実施数	
活動指標の算式	―	
活動指標の実績(見込)	35 単位 基	42 単位 基
単位当たりコスト　（円）	41,971	48,095

特定財源の状況

備考
＜予算案のポイント＞
【重点事業】
3.住みよい地域創造プロジェクト
(6)自治会掲示板設置事業補助金

平成 30 年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	防犯灯設置事業補助金

所管課	41	総務課	（総務部）

事業の目的

市民の防犯意識を高め、犯罪の防止と通行の安全を図るため、防犯灯設置に要する経費について、自治会等に対し補助金を交付する。
また、防犯灯をLED化することにより、省力化でより明るくし、夜間の通行の安全を図る。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	2	総務費
項	1	総務管理費
目	10	生活安全対策費
細目		

根拠条例等	宇陀市防犯灯設置事業補助金交付要綱
総合計画	基本計画　第6章　第3節　地域力の再生

H30年度事業の概要

補助対象経費	補助金額（1基あたり） 蛍光灯	LED
防犯灯の新設	10千円	14千円
既設電柱に照明器具の新設	6千円	10千円
照明器具の更新	3千円	7千円

大宇陀地域	321基	2,396千円
菟田野地域	25基	225千円
榛原地域	343基	2,491千円
室生地域	274基	2,007千円
合計	963基	7,119千円

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

防犯灯設置事業補助金交付実績

（基）

区分	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
防犯灯の新設	20	12	6	20	7	7	11
既設電柱に照明器具の新設	15	5	15	35	34	26	40
照明器具の更新	28	9	46	397	725	533	953
合計	63	26	67	452	766	566	1,004

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	7,119
H30予算額	7,119
H29 当初予算額	7,455
H29 現計予算額	7,455
増減額	▲ 336

事　業　の　コ　ス　ト	平成28年度（実績）	平成29年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）	7,205	7,455
従事職員数【人工】	2.19	2.19
人件費（人工×8,000千円）	17,520	17,520
総事業費：人件費含む（千円）	24,725	24,975

【活動指標の根拠】 総合計画（行政評価） ・ 総合戦略 ・ その他（　　）

活動指標名	実施数					
活動指標の算式	―					
活動指標の実績(見込)	1,004	単位	基	861	単位	基
単位当たりコスト　（円）	24,626			29,007		

特定財源の状況

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
5.市民安心安全プロジェクト
[暮らしの安全]
(11)防犯灯、交通安全施設の整備

平成 30 年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	防犯カメラ設置事業補助金

所管課	41	総務課	（総務部）

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	2	総務費
項	1	総務管理費
目	10	生活安全対策費
細目	1	本庁生活安全対策費

事業の目的

犯罪の抑止及び防犯意識向上のため、防犯カメラを設置する自治会等に補助を行う。

根拠条例等	宇陀市防犯カメラ設置事業補助金交付要綱
総合計画	基本計画　第3章　第5節　安全・安心な暮らしの実現

H30年度事業の概要

（負担金補助及び交付金）
1事業に要する補助基本額　300,000円×2/3（補助率）
=200,000円（補助額）
200,000円×4事業=800,000円

事業の目標・成果
（これまでの成果，今後の見通し）

多様化する犯罪に対して、防犯カメラを設置するなど、地域の防犯体制を充実することで、犯罪の抑止及び防犯意識の向上を図る。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	800
H30予算額	800
H29 当初予算額	
H29 現計予算額	800
増減額	800

事　業　の　コ　ス　ト	平成28年度（実績）	平成29年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）		800
従事職員数【人工】		0.05
人件費（人工×8,000千円）		400
総事業費：人件費含む（千円）		1,200

【活動指標の根拠】 総合計画（行政評価） ・ 総合戦略 ・ その他（　　）

活動指標名	実施数					
活動指標の算式	―					
活動指標の実績(見込)		単位		4	単位	基
単位当たりコスト　（円）				300,000		

特定財源の状況

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
5.市民安心安全プロジェクト
[暮らしの安全]
(12)防犯カメラ設置事業補助金

平成 30 年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	地域受入協議会支援事業

所管課	147	まちづくり支援課	（企画財政部）

事業の目的	
	奈良県南部・東部地域において、移住、二地域居住及び定住に向けた活動を行う団体（地域受入協議会）を支援する。 ※地域受入協議会：宇陀市の住民及び職員等で構成され、南部・東部地域への移住、二地域居住及び定住を支援する団体をいう。

宇陀市一般会計予算

区分	No.	区分名
款	2	総務費
項	1	総務管理費
目	17	まちづくり支援費
細目	1	まちづくり支援費

根拠条例等	
総合計画	基本計画　第5章　第5節　交流施策の充実

H30年度事業の概要	対象経費：地域受入協議会が行う宇陀市への移住、二地域居住及び定住の促進に向けた事業（施設整備を除く。）に要する経費 ・補助金（県1/2　市1/2）　500千円/1申請
事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）	宇陀市への移住、二地域居住及び定住を促進し、活力あるまちづくりに繋げる。

財源の内訳　（単位：千円）

分担金	
使用料	
国　費	
県　費	500
市　債	
その他	
一般財源	500
H30予算額	1,000
H29 当初予算額	500
H29 現計予算額	500
増減額	500

事　業　の　コ　ス　ト	平成28年度（実績）	平成29年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）		500
従事職員数【人工】		0.30
人件費（人工×8,000千円）		2,400
総事業費：人件費含む（千円）		2,900
【活動指標の根拠】 総合計画(行政評価) ・ 総合戦略 ・ その他(　　)		
活動指標名	受入人数	
活動指標の算式	―	
活動指標の実績(見込)	単位	50 単位 人
単位当たりコスト　（円）		58,000

特定財源の状況

地域受入協議会支援事業費補助金
500千円

備考	＜予算案のポイント＞ 【重点事業】 3.住みよい地域創造プロジェクト (2)まちづくり協議会の推進

平成 30 年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	まちづくり協議会支援事業（地方創生）

所管課	147	まちづくり支援課	（企画財政部）

事業の目的	地域住民が身近な課題の解決に向けて、それぞれの地域の個性を活かして自立的にまちづくりを推進するため「まちづくり協議会」の活動を幅広く支援する。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	2	総務費
項	1	総務管理費
目	18	地方創生総合事業費
細目	1	地方創生総合事業費（まちづくり支援課）

根拠条例等	宇陀市のまちづくりの基本理念条例、宇陀市いきいき地域づくり補助金交付要綱
総合計画	基本計画　第3章　第1節　定住拠点の構築

H30年度事業の概要	○まちづくり協議会支援事業　需用費　36千円 役務費　5千円 ○まちづくりアドバイザー賃金(4名)　6,981千円 ○いきいき地域づくり補助金（基本分）　10,500千円 ○いきいき地域づくり補助金（活動支援分）　5,900千円 ○市マイクロバス運転委託料　174千円 ○拠点施設借地料　480千円 活動支援補助金については、市からメニューを提案することにより、地域特性を活かした事業に積極的に取り組む。 【特別支援補助金メニュー】 ①安心して暮らせる地域づくり（集落活動支援、ワンコインサービス等） ②移住定住による地域づくり （空き家解消、定住サポート等） ③地域資源の活用による特産品づくり（特産品開発、薬草関連事業等）
事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）	市内21地域のまちづくり協議会自らが考えた地域の実情に応じた活動を行うことで、地域課題の解決を図ることができる。また、研修会の開催により各まちづくり協議会の連携を図る。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	24,076
H30予算額	24,076
H29当初予算額	27,864
H29現計予算額	27,864
増減額	▲ 3,788

事　業　の　コ　ス　ト	平成28年度（実績）	平成29年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）	23,144	26,231
従事職員数【人工】	2.00	2.00
人件費（人工×8,000千円）	16,000	16,000
総事業費：人件費含む（千円）	39,144	42,231
【活動指標の根拠】 総合計画(行政評価) ・ 総合戦略 ・ その他(　　)		
活動指標名	まちづくり協議会数	
活動指標の算式	―	
活動指標の実績(見込)	21 単位 団体	21 単位 団体
単位当たりコスト　（円）	1,864,000	2,011,000

特定財源の状況	
備考	＜予算案のポイント＞ 【重点事業】 3.住みよい地域創造プロジェクト (2)まちづくり協議会の推進

平成 30 年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	まちづくり活動応援補助金交付事業（地方創生）

所管課	147	まちづくり支援課	（企画財政部）

事業の目的	市内で活動する団体が行う新たな取り組みに対して補助金を交付することにより、市民による主体的かつ地域の個性を活かしたまちづくりを推進し、市の発展に寄与することを目的とする。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	2	総務費
項	1	総務管理費
目	18	地方創生総合事業費
細目	1	地方創生総合事業費（まちづくり支援課）

根拠条例等	まちづくり活動応援補助金交付金交付要綱
総合計画	基本計画　第6章　第3節　地域力の再生

H30年度事業の概要	○審査会及び実績報告会 審査員謝礼　31千円 需用費　12千円 役務費　4千円 ○補助金 500千円×6団体＝3,000千円
事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）	市民活動の特性を活かし、市民ニーズに対応した事業を実施することにより、行政の補完、補助的な役割をもった事業へつなげる。また、自立した活動ができる団体を育成する。 平成23年度実績　新規10団体 平成24年度実績　新規6団体　継続2団体 平成25年度実績　新規5団体　継続2団体 平成26年度実績　新規6団体 平成27年度実績　新規4団体　継続2団体 平成28年度実績　新規3団体　継続4団体 平成29年度申請　新規3団体　継続3団体

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	3,047
H30予算額	3,047
H29当初予算額	2,542
H29現計予算額	2,542
増減額	505

事　業　の　コ　ス　ト	平成28年度（実績）	平成29年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）	2,527	2,542
従事職員数【人工】	0.40	0.40
人件費（人工×8,000千円）	3,200	3,200
総事業費：人件費含む（千円）	5,727	5,742
【活動指標の根拠】 総合計画(行政評価) ・ 総合戦略 ・ その他(　　)		
活動指標名	補助団体数	
活動指標の算式	―	
活動指標の実績(見込)	7 単位 団体	6 単位 団体
単位当たりコスト　（円）	818,143	957,000

特定財源の状況

備考	＜予算案のポイント＞ 【重点事業】 1.にぎわいづくり創造プロジェクト [地域経済の活性化] (6)まちづくり活動応援補助金交付事業

平成 30 年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	アントレプレナー育成循環事業 【空き家情報バンク・空き家活用推進事業】（地方創生）

所管課	147	まちづくり支援課	（企画財政部）

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	2	総務費
項	1	総務管理費
目	18	地方創生総合事業費
細目	1	地方創生総合事業費（まちづくり支援課）

事業の目的

市内にある空き家等の有効活用を通して、市外からの定住促進を図るため、市内の空き家の情報発信及び空き家の活用に対して補助を行う。

根拠条例等	宇陀市空き家情報バンク設置要綱、宇陀市空き家対策・起業者支援事業補助金交付要綱
総合計画	基本計画　第3章　第1節　定住拠点の構築

H30年度事業の概要

○空き家情報バンク
所有者から申込みのあった物件情報を、市と「空き家の仲介に関する協定」を交わした宅地建物取引業者が確認し、市に情報を集約し、市内外の利用希望者に発信する。
需用費27千円　役務費7千円
○空き家活用推進事業
空き家等を改修し、農家民宿や店舗等として活用するにあたり、補助金を支給する。
需用費10千円　役務費5千円　改修等補助6,000千円
家財道具処分補助300千円　家賃補助1,080千円

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

空き家の有効活用及び定住を促進し、地域の活性化を促すために、所有者に制度を周知するとともに、空き家は地域活力や人口増加の受け皿である意識を醸成する。
また、空き家の活用を検討している起業者等に対して、補助を行うことにより空き家活用を促進し地域の活性化を図る。

登録物件総数　145件
成約物件総数　88件
（平成30年1月末までの累計）

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	7,429
H30予算額	7,429
H29 当初予算額	5,040
H29 現計予算額	5,040
増減額	2,389

事　業　の　コ　ス　ト	平成28年度（実績）	平成29年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）	707	5,040
従事職員数【人工】	0.30	0.30
人件費（人工×8,000千円）	2,400	2,400
総事業費：人件費含む（千円）	3,107	7,440
【活動指標の根拠】 総合計画(行政評価) ・ 総合戦略 ・ その他(　　)		
活動指標名	空き家情報バンク登録件数	
活動指標の算式	―	
活動指標の実績(見込)	28 単位 件	30 単位 件
単位当たりコスト　（円）	110,964	248,000

特定財源の状況

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
1.にぎわいづくり創造プロジェクト
[農林業・商工業の振興]
(8)アントレプレナー（起業家）育成循環事業

平成 30 年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	定住促進奨励事業・子育て世代支援事業（地方創生）

所管課	147	まちづくり支援課	（企画財政部）

事業の目的	
	市内に住宅を取得した要件を満たす方に奨励金（ウッピー商品券）を交付し、人口減少の歯止めと定住化及び活力あるまちづくりを推進する。 平成27年度からは、奨励金の上乗せにより、子育て世代への支援を行っている。

宇陀市一般会計予算

区分	No.	区分名
款	2	総務費
項	1	総務管理費
目	18	地方創生総合事業費
細目	1	地方創生総合事業費（まちづくり支援課）

根拠条例等	宇陀市経済対策としての定住促進奨励金交付要綱
総合計画	基本計画　第3章　第1節　定住拠点の構築

H30年度事業の概要	
	○事務経費 需用費81千円　役務費76千円 ○定住促進奨励金 転入分　100千円×35件＝3,500千円 転居分　50千円×10件＝ 500千円 子育て加算分　200千円×20件＝4,000千円 ※18歳以下の子どもが　1人の場合　50千円 2人の場合　100千円 3人以上の場合　200千円
事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）	定住促進及び自治会への加入による活力あるまちづくりの推進と市内経済の活性化を図る。 平成24年度実績　転入28件（78人）　転居14件（ 50人） 平成25年度実績　転入19件（60人）　転居32件（111人） 平成26年度実績　転入22件（66人）　転居29件（ 99人） 平成27年度実績　転入29件（95人）　転居29件（ 76人） 平成28年度実績　転入20件（76人）　転居37件（112人） 子育て加算分　転入10件　転居26件

財源の内訳　（単位：千円）

分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	8,157
H30予算額	8,157
H29当初予算額	8,127
H29現計予算額	8,127
増減額	30

事業のコスト	平成28年度（実績）	平成29年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）	7,431	8,127
従事職員数【人工】	0.30	0.30
人件費（人工×8,000千円）	2,400	2,400
総事業費：人件費含む（千円）	9,831	10,527

【活動指標の根拠】 総合計画(行政評価) ・ 総合戦略 ・ その他(　　)

活動指標名	申請件数					
活動指標の算式	―					
活動指標の実績(見込)	57	単位	件	68	単位	件
単位当たりコスト　（円）	172,474			154,809		

特定財源の状況

備考	＜予算案のポイント＞ 【重点事業】 3.住みよい地域創造プロジェクト (4)定住促進奨励事業・子育て世代支援事業

平成 30 年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	結婚支援事業（地方創生）

所管課	147	まちづくり支援課	（企画財政部）

事業の目的	新たな出会いや結婚の機会を創出することにより、未婚化・晩婚化の対策を図るとともに、地域全体で結婚を支援する機運の醸成を図る。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	2	総務費
項	1	総務管理費
目	18	地方創生総合事業費
細目	1	地方創生総合事業費（まちづくり支援課）

根拠条例等	宇陀市結婚支援事業実施要綱
総合計画	基本計画　第3章　第1節　定住拠点の構築

H30年度事業の概要	○結婚支援イベント事業委託 100千円×2件＝200千円 ○イベントを通じて成婚し、市に定住した場合の結婚祝金 50千円
事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）	独身男女の出会いイベントを市が誘導することにより、地域全体で若者の結婚を支援する機運を高め、宇陀の魅力をアピールしたイベントを通じて、カップルの成立と市内で住む夫婦の成立を目指す。 平成23年度から平成28年度までの成果 開催回数　11回 参加者数　305名 成婚　4組（うち、結婚祝金の対象3組）

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	250
H30予算額	250
H29当初予算額	250
H29現計予算額	250
増減額	

事　業　の　コ　ス　ト	平成28年度（実績）	平成29年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）	150	200
従事職員数【人工】	0.40	0.40
人件費（人工×8,000千円）	3,200	3,200
総事業費：人件費含む（千円）	3,350	3,400
【活動指標の根拠】 総合計画(行政評価) ・ 総合戦略 ・ その他(　　)		
活動指標名	参加者数	
活動指標の算式	―	
活動指標の実績(見込)	54 単位 人	59 単位 人
単位当たりコスト　（円）	62,037	57,627

特定財源の状況

備考	＜予算案のポイント＞ 【重点事業】 3.住みよい地域創造プロジェクト (5)結婚支援事業

平成 30 年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	「アタック25」同窓会開催補助事業（地方創生）

所管課	147	まちづくり支援課	（企画財政部）

事業の目的	再会による出会いの場を創出し、同世代のネットワークを形成するとともに、故郷宇陀を再認識し、まちづくりに寄与する機運を高めるために同窓会開催に対して補助を行う。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	2	総務費
項	1	総務管理費
目	18	地方創生総合事業費
細目	1	地方創生総合事業費（まちづくり支援課）

根拠条例等	
総合計画	基本計画　第3章　第1節　定住拠点の構築

H30年度事業の概要	市内で開催される20歳代を対象とした同窓会に対して経費の一部を補助する。 2,500円×50名＝125千円
事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）	・同窓会の開催を市内で行うことにより、生まれ育った宇陀市への愛着を育み地域活性化に繋げる。 ・出会いを創出することにより、結婚、定住促進に繋げる。 ・故郷の良さを再認識し、Uターンへの機会を設ける。 平成28年度成果 補助対象者数　87名（申請3団体）

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	125
H30予算額	125
H29 当初予算額	250
H29 現計予算額	250
増減額	▲ 125

事　業　の　コ　ス　ト	平成28年度（実績）	平成29年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）	218	250
従事職員数【人工】	0.30	0.30
人件費（人工×8,000千円）	2,400	2,400
総事業費：人件費含む（千円）	2,618	2,650
【活動指標の根拠】 総合計画(行政評価) ・ 総合戦略 ・ その他(　　)		
活動指標名	参加者	
活動指標の算式	―	
活動指標の実績(見込)	87 単位 人	100 単位 人
単位当たりコスト　（円）	30,092	26,500

特定財源の状況

備考	＜予算案のポイント＞ 【重点事業】 3.住みよい地域創造プロジェクト (8)「アタック25」同窓会開催補助事業

平成 30 年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	室生口大野駅「おもてなしステーション」事業（地方創生）

所管課	81	企画課	（企画財政部）

事業の目的

室生口大野駅において、観光客への市内観光地のPRや交通・宿泊・食事等の案内などを行い、地域のイメージアップを図るとともに、観光地域づくりを行う。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	2	総務費
項	1	総務管理費
目	18	地方創生総合事業費
細目	2	地方創生総合事業費（企画課）

根拠条例等	
総合計画	基本計画　第5章　第4節　観光の振興

H30年度事業の概要

観光シーズンは全日体制、シーズンオフは半日体制と、観光シーズンに重点をおいた体制で業務を行う。また、商工観光課との連携により、ボランティアガイドの発掘育成や観光地等の紹介等行う。

項目	金額（千円）
消耗品費	7
光熱水費	15
通信運搬費	24
手数料	2
委託料	1,839
使用料及び賃借料	101
計	1,988

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

観光シーズンとシーズンオフでは利用者数に大きな差があるが、リピーターや外国人観光客が増加している。また、商工観光課・公民館と連携し、室生地域の観光ボランティアガイド育成講座を行い、おもてなし向上につなげた。室生地域の玄関口において、おもてなしの心により賑わいと情報発信を行う。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	1,988
H30予算額	1,988
H29 当初予算額	1,798
H29 現計予算額	1,798
増減額	190

事　業　の　コ　ス　ト	平成28年度（実績）	平成29年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）	1,730	1,798
従事職員数【人工】	0.20	0.20
人件費（人工×8,000千円）	1,600	1,600
総事業費：人件費含む（千円）	3,330	3,398

【活動指標の根拠】 総合計画（行政評価） ・ 総合戦略 ・ その他（　　）

活動指標名	利用者数					
活動指標の算式	―					
活動指標の実績(見込)	17,926	単位	人	18,565	単位	人
単位当たりコスト　（円）	186			183		

特定財源の状況

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
1.にぎわいづくり創造プロジェクト
[観光振興 宇陀市の歴史的文化的資産の活用]
(6)観光施設、観光資源の整備

平成 30 年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	宇陀市地域公共交通網形成計画推進事業（地方創生）

所管課	81	企画課	（企画財政部）

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	2	総務費
項	1	総務管理費
目	18	地方創生総合事業費
細目	2	地方創生総合事業費（企画課）

事業の目的	「宇陀市地域公共交通網形成計画」に基づき、基本理念で掲げた「市民総参加（宇陀力）による健康・観光・交通まちづくり」を実現していくためには、地域公共交通のさらなる利用促進を図ることが重要であることから、今後、宇陀市地域公共交通網形成計画に位置づけた事業を実施し、地域公共交通のさらなる利用促進を図ることにより、「宇陀総参加（宇陀力）による健康・観光・交通のまちづくり」を実現する。
根拠条例等	
総合計画	基本計画　第3章　第3節　公共交通機関の充実
H30年度事業の概要	宇陀市公共交通活性化再生協議会に対する市負担金 3,300千円 【事業内容】 ①バス路線沿線の住民を対象としたモビリティ・マネジメントの実施 ②路線バスの効率的運行に向けた検討会議の開催 ③学校モビリティ・マネジメントの実施 ④地域住民・交通事業者・行政が一体となった持続可能な地域公共交通の検討
事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）	①バス路線沿線の沿線住民を対象にモビリティ・マネジメントを実施し、利用促進を図る。 ②市営有償バスの効率的運行に向けた検討会議を開催し、今後の運行形態等について検討する。 ③学校モビリティ・マネジメントの実施 市内の小学生を対象に、バスの乗り方や利用時のマナー等を教える「バス教室」を実施。 ④地域主体の交通づくりの支援制度の検討 地域住民を対象としたワークショップを開催し、市内を運行する地域公共交通の現状等の情報提供、それぞれの地域での問題点や解決策（案）を模索するとともに、市としてどのような支援ができるか等の仕組みづくりについての検討を行う。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	3,300
H30予算額	3,300
H29 当初予算額	3,500
H29 現計予算額	3,500
増減額	▲ 200

事　業　の　コ　ス　ト	平成28年度（実績）	平成29年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）	2,458	3,500
従事職員数【人工】	0.20	0.20
人件費（人工×8,000千円）	1,600	1,600
総事業費：人件費含む（千円）	4,058	5,100
【活動指標の根拠】 総合計画（行政評価）・ 総合戦略 ・ その他（　　）		
活動指標名	利用者数	
活動指標の算式	―	
活動指標の実績(見込)	552,806 単位 人	497,000 単位 人
単位当たりコスト　（円）	7	10

特定財源の状況

備考	＜予算案のポイント＞ 【重点事業】 5.市民安心安全プロジェクト [暮らしの安心] (2)宇陀市地域公共交通網形成計画推進事業

平成 30 年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	アントレプレナー育成循環事業【大和高原しごとづくり事業】（地方創生）

所管課	81	企画課	（企画財政部）

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	2	総務費
項	1	総務管理費
目	18	地方創生総合事業費
細目	2	地方創生総合事業費（企画課）

事業の目的

「宇陀市まち・ひと・しごと創生総合戦略」で掲げている基本目標「しごと：地域資源を活かして育てるまちづくり」を推進するため、国の地域おこし協力隊制度を活用するとともに官民連携による起業家を育成し、経済循環を図る。

根拠条例等	まち・ひと・しごと創生法
総合計画	基本計画　第5章　第5節　交流施策の充実

H30年度事業の概要

地域おこし協力隊員を8名採用し、起業家育成プログラムを官民連携により実施し、本市の地域資源を最大限に活用した起業家の育成を行う。

①共済費（健康保険料、厚生年金保険料等）　2,039千円
②賃金　13,033千円
③大和高原しごとづくり協議会負担金　16,000千円

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

人口減少社会を迎える中、移住定住の促進には、雇用創出が必須の課題である。そうした中、平成28年12月に奈良県・宇陀市・ロート製薬㈱による「大和高原の魅力ある仕事づくりに関する連携協定」を締結し、官民連携による仕事づくりに向けた取り組みを進めている。

本市は大和高原地帯であり、古くから薬草の栽培、有機農業なども盛んな地域である。そのような地域性を活かした起業家の育成に向けて、起業支援メニューの充実、空き家、空き店舗等とも連携し、市内での創業件数の増加や起業家が市内で活躍するまちづくりを目指す。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	31,072
H30予算額	31,072
H29 当初予算額	40,000
H29 現計予算額	40,000
増減額	▲ 8,928

事業のコスト	平成28年度（実績）	平成29年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）	2,071	15,356
従事職員数【人工】	0.20	0.20
人件費（人工×8,000千円）	1,600	1,600
総事業費：人件費含む（千円）	3,671	16,956

【活動指標の根拠】 総合計画(行政評価) ・ 総合戦略 ・ その他(　　)

活動指標名	起業家の育成者数					
活動指標の算式	―					
活動指標の実績(見込)		単位		5	単位	人
単位当たりコスト　（円）				3,391,200		

特定財源の状況

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
1.にぎわいづくり創造プロジェクト
[農林業・商工業の振興]
(8)アントレプレナー（起業家）育成循環事業

平成 30 年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	健康ポイント事業（地方創生）

所管課	123	健康増進課	（健康福祉部）

事業の目的	受診率向上、健康づくりの講座やウェルネスイベントへの参加など積極的な健康づくりの取組を後押しすることを目的とする。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	2	総務費
項	1	総務管理費
目	18	地方創生総合事業費
細目	3	地方創生総合事業費（健康増進課）

根拠条例等	健康増進法
総合計画	基本計画　第2章　第1節　健康づくりの推進

H30年度事業の概要	【健康ポイント事業】健康づくりに関する事業に参加することで健康ポイントをため、健康グッズなどの記念品がもらえる。 1口50ポイントを3口まとめて応募の場合、毎月先着30名に500円のウッピー商品券を付与する。 【ウェルネスウォーク】月替わりウェルネス事業の一つとして実施。フレンドパークを中心に芳野川沿い、狩路の桜周辺をウォーキング。 【Smart Wellness City 首長研究会への参加】 報償費　健康記念品等　588千円　　旅費　86千円 需用費　ちらし印刷、参加賞　348千円　　役務費　35千円 負担金　SWC参加費 4千円
事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）	事業参加することをすすめ、ウェルネスシティ宇陀市構想を推進する。 自分自身の健康づくり活動に対しての努力とその成果を健康ポイントとして貯め、抽選によって景品があたるというインセンティブ効果を狙って健康づくりに対する関心を高める。

健康ポイント	26年度	27年度	28年度
応募実人数	428人	475人	478人
応募件数	878件	1,166件	1,281件

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	1,061
H30予算額	1,061
H29 当初予算額	1,424
H29 現計予算額	1,424
増減額	▲ 363

事　業　の　コ　ス　ト	平成28年度（実績）	平成29年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）	1,084	1,424
従事職員数【人工】	0.30	0.20
人件費（人工×8,000千円）	2,400	1,600
総事業費：人件費含む（千円）	3,484	3,024
【活動指標の根拠】 総合計画(行政評価) ・ 総合戦略 ・ その他(　　)		
活動指標名	ポイントカード応募数	
活動指標の算式	―	
活動指標の実績(見込)	1,281 単位 件	1,500 単位 件
単位当たりコスト　（円）	2,720	2,016

特定財源の状況

備考	＜予算案のポイント＞ 【重点事業】 2.健康なまちづくりプロジェクト (1)“ウェルネスシティ”推進事業

平成 30 年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	ウェルネス運動事業（地方創生）

所管課	123	健康増進課	（健康福祉部）

事業の目的	健康づくりのための運動（有酸素・ストレッチ・筋トレ等）に、脳を活性化させるシナプソロジー（二つのことを同時に行うこと）を含んだ動きをプラスして、脳と身体の運動を行うことで健康寿命の延伸につなげる。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	2	総務費
項	1	総務管理費
目	18	地方創生総合事業費
細目	3	地方創生総合事業費（健康増進課）

根拠条例等	健康増進法
総合計画	基本計画　第2章　第1節　健康づくりの推進

H30年度事業の概要	脳と身体のいきいき運動教室の実施 報償費（講師謝礼・記念品）　596千円 需用費（活動量計・事業チラシ印刷等）　241千円 役務費（通信費等）　71千円 使用料及び賃借料（機器・システム使用料）　309千円
事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）	高齢者と言われる65歳以前から運動習慣をもつことや脳を活性化させることで健康寿命の延伸につなげる。認知症、転倒、骨折など要介護状態になる原因の予防を図る。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	960
一般財源	257
H30予算額	1,217
H29 当初予算額	1,189
H29 現計予算額	1,189
増減額	28

事　業　の　コ　ス　ト	平成28年度（実績）	平成29年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）	1,227	1,189
従事職員数【人工】	0.30	0.30
人件費（人工×8,000千円）	2,400	2,400
総事業費：人件費含む（千円）	3,627	3,589
【活動指標の根拠】 総合計画（行政評価）・ 総合戦略 ・ その他（　　）		
活動指標名	事業参加者（実人数）	
活動指標の算式	―	
活動指標の実績(見込)	24 単位 人	30 単位 人
単位当たりコスト　（円）	151,125	119,633

特定財源の状況
雑入（運動教室受講料）　960千円

備考	＜予算案のポイント＞ 【重点事業】 2.健康なまちづくりプロジェクト (1)“ウェルネスシティ”推進事業

平成 30 年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	ウェルネスシニア健康学校事業（地方創生）

所管課	123	健康増進課	（健康福祉部）

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	2	総務費
項	1	総務管理費
目	18	地方創生総合事業費
細目	3	地方創生総合事業費（健康増進課）

事業の目的

「教養でつくる健康長寿」という考え方で、高齢者対策を福祉の視点ではなくまちづくり、文化の視点へ転換する。高齢者に学習の機会、運動の機会を提供し、学ぶことの喜びから生きがいづくり、ともに学ぶことから仲間づくりにつなげる。
シニア健康学校卒業生が、学んだことを地域サロンの中で生かすリーダー的役割を担うことを目指す。

根拠条例等	健康増進法
総合計画	基本計画　第2章　第1節　健康づくりの推進

H30年度事業の概要

高齢者層を対象に、社会福祉協議会に委託して、月2回程度、シニア健康学校を開設する。

委託料　　809千円

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

地域の活性化
健康長寿・介護予防と認知症予防
地域サロンの活性（シニア健康学校卒業者が地域のリーダー）
運動会等を一緒に行う事で児童と高齢者の世代間交流
高齢者の教養向上
人間関係づくり（多くの人と知り合える）
ボランティア・NPOの活性化
老人会の活性化
社会福祉協議会の役割の明確化
[平成28年度実績]
ウェルネスシニア健康学校参加者　26人

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	809
H30予算額	809
H29 当初予算額	1,001
H29 現計予算額	1,001
増減額	▲ 192

事　業　の　コ　ス　ト	平成28年度（実績）	平成29年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）	738	1,001
従事職員数【人工】	0.10	0.10
人件費（人工×8,000千円）	800	800
総事業費：人件費含む（千円）	1,538	1,801
【活動指標の根拠】 総合計画(行政評価) ・ 総合戦略 ・ その他(　　)		
活動指標名	参加者数	
活動指標の算式	―	
活動指標の実績(見込)	26 単位 人	30 単位 人
単位当たりコスト　（円）	59,154	60,033

特定財源の状況

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
2.健康なまちづくりプロジェクト
(1)“ウェルネスシティ”推進事業

平成 30 年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	おはようラジオ体操事業（地方創生）

所管課	123	健康増進課	（健康福祉部）

事業の目的

ラジオ体操は子どもから高齢者まで、ほとんどの人が知っていて、音楽があれば指導者がいなくてもいつでもどこで実施できる。
誘い合ってすることで運動の継続になり、コミュニケーションやお互いの安全の確認ができ、健康効果と地域のつながりを強める。
自治会・まちづくり協議会を中心に、ラジオ体操の効果を啓発する。

宇陀市一般会計予算

区分	No.	区分名
款	2	総務費
項	1	総務管理費
目	18	地方創生総合事業費
細目	3	地方創生総合事業費（健康増進課）

根拠条例等	健康増進法
総合計画	基本計画　第2章　第1節　健康づくりの推進

H30年度事業の概要

地域でのラジオ体操普及を目的に、ラジオ体操を継続的に実施する自治会、まちづくり協議会に補助金10,000円を交付する。のぼり、「正しいラジオ体操の本（DVD）、出席カードなどを配布する。

役務費　8千円
負担金、補助金　ラジオ体操事業補助金　500千円

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

【ラジオ体操の効果】
＊身体活動を高める。
＊朝早くから起きることで生活リズムが整えられ、活動的になる。
＊同じ場所で地域の人達と顔を合わせることで見守りにつながる。

ラジオ体操	26年度	27年度	28年度
実施箇所数（箇所）	28	32	37
参加実人数（人）	356	461	584

財源の内訳　（単位：千円）

分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	508
H30予算額	508
H29当初予算額	508
H29現計予算額	508
増減額	

事業のコスト	平成28年度（実績）	平成29年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）	370	508
従事職員数【人工】	0.20	0.20
人件費（人工×8,000千円）	1,600	1,600
総事業費：人件費含む（千円）	1,970	2,108

【活動指標の根拠】 総合計画(行政評価) ・ 総合戦略 ・ その他(　　)

活動指標名	実施箇所数					
活動指標の算式	―					
活動指標の実績(見込)	37	単位	箇所	40	単位	箇所
単位当たりコスト　（円）	53,243			52,700		

特定財源の状況

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
2.健康なまちづくりプロジェクト
(1)“ウェルネスシティ”推進事業

平成 30 年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	不妊治療費助成事業（地方創生）

所管課	123	健康増進課	（健康福祉部）

事業の目的	急速に進む少子高齢化に歯止めをかけ、定住促進に資することを目的に、不妊に悩む夫婦の負担の軽減を図る。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	2	総務費
項	1	総務管理費
目	18	地方創生総合事業費
細目	3	地方創生総合事業費（健康増進課）

根拠条例等	宇陀市一般不妊治療費助成金交付要綱
総合計画	基本計画　第2章　第1節　健康づくりの推進

H30年度事業の概要	一般不妊治療に要する経費について、1年間で5万円を上限として助成する。 50,000円×12組＝600,000円
事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）	不妊に悩む夫婦の経済的負担の軽減を図ることで出生を促し、少子化に歯止めをかけ、若年層の定住促進に繋げる。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	600
H30予算額	600
H29当初予算額	500
H29現計予算額	500
増減額	100

事　業　の　コ　ス　ト	平成28年度（実績）	平成29年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）	617	500
従事職員数【人工】	0.10	0.10
人件費（人工×8,000千円）	800	800
総事業費：人件費含む（千円）	1,417	1,300
【活動指標の根拠】 総合計画(行政評価) ・ 総合戦略 ・ その他(　　)		
活動指標名	助成金受給者数	
活動指標の算式	―	
活動指標の実績(見込)	18 単位 人	15 単位 人
単位当たりコスト　（円）	78,722	86,667

特定財源の状況

備考	＜予算案のポイント＞ 【重点事業】 4.こども未来創造プロジェクト (2)不妊治療費助成事業

平成 30 年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	いきいき百歳体操（地方創生）

所管課	128	医療介護あんしんセンター	（健康福祉部）

事業の目的	地域包括ケアシステムの構築を推進するため、要介護認定の35%を占める不活発病といわれる筋骨格系の病状の悪化の防止に向け、地域で高齢者が主体となって集い、筋力・バランス・柔軟性・持久力の向上を図るいきいき百歳体操を行うことで、閉じこもり予防と更なる健康状態の改善、見守りなどコミュニティの形成に繋ぐことを目的とする。

宇陀市一般会計予算

区分	No.	区分名
款	2	総務費
項	1	総務管理費
目	18	地方創生総合事業費
細目	3	地方創生総合事業費（健康増進課）

根拠条例等	介護保険法
総合計画	基本計画　第2章　第3節　高齢者が安心してくらせるまち

H30年度事業の概要	地域の集会所等で、地域住民が主体となって5人以上の高齢者等が週1回以上集まって、体操DVDを見ながら約40分間椅子に座り筋力・バランス・柔軟性・持久力の向上を中心とした運動を行う。 その際に使用する、DVDプレーヤー・テレビ・椅子・運動用の錘等会場設営に係る費用など、住民主体で運動を始める応援として初回のみ補助金を支出する。説明会及び測定開始時には医療介護あんしんセンターから指導を行う。 1カ所30,000円×30カ所＝900,000円（1箇所1回限り）
事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）	高齢者が、自主的に地域で集い、筋力アップを中心とした運動を行うことで高齢者個々の介護予防を図り健康寿命の延伸、閉じこもりの防止、互いの見守りを行うとともに、コミュニティの形成に繋げる。また介護保険や医療保険の支出の抑制に繋いでいく。

財源の内訳　（単位：千円）

分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	900
一般財源	
H30予算額	900
H29当初予算額	1,000
H29現計予算額	1,000
増減額	▲ 100

事業のコスト	平成28年度（実績）	平成29年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）		1,000
従事職員数【人工】		1.00
人件費（人工×8,000千円）		8,000
総事業費：人件費含む（千円）		9,000
【活動指標の根拠】 総合計画(行政評価) ・ 総合戦略 ・ その他( )		
活動指標名	体操実施箇所	
活動指標の算式		
活動指標の実績(見込)	単位	30 単位 箇所
単位当たりコスト　（円）		300,000

特定財源の状況

ふるさと応援基金繰入金　900千円

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
2.健康なまちづくりプロジェクト
(1)“ウェルネスシティ”推進事業

平成 30 年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	ベビーシートレンタル事業（地方創生）

所管課	126	こども未来課	（健康福祉部）

事業の目的	乳児を養育している子育て世帯を対象に、ベビーシートを貸与することにより、乳児の安全と保護者の経済的負担を軽減する。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	2	総務費
項	1	総務管理費
目	18	地方創生総合事業費
細目	4	地方創生総合事業費（こども未来課）

根拠条例等	道路交通法第71条の3第4項、宇陀市幼児用補助装置貸与事業実施要綱
総合計画	基本計画　第2章　第5節　子育て支援が充実したまち

H30年度事業の概要	対象：宇陀市在住の乳児を養育する者 貸与期間：生後6ヵ月以内 事業内容：レンタル業者と委託契約を結び、申請者には直接業者からベビーシートが貸与される。 8,600円×35件×1.08＝325,080円 郵送料　2,870円
事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）	実績（貸与件数） 平成22年度　44件 平成23年度　33件 平成24年度　38件 平成25年度　34件 平成26年度　33件 平成27年度　42件 平成28年度　26件

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	328
H30予算額	328
H29当初予算額	375
H29現計予算額	375
増減額	▲ 47

事　業　の　コ　ス　ト	平成28年度（実績）	平成29年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）	238	375
従事職員数【人工】	0.10	0.10
人件費（人工×8,000千円）	800	800
総事業費：人件費含む（千円）	1,038	1,175
【活動指標の根拠】 総合計画(行政評価) ・ 総合戦略 ・ その他(　　)		
活動指標名	貸与件数	
活動指標の算式	―	
活動指標の実績(見込)	26 単位 件	30 単位 件
単位当たりコスト　（円）	39,923	39,167

特定財源の状況

備考	＜予算案のポイント＞ 【重点事業】 4.こども未来創造プロジェクト (5)便利な田舎宇陀のレシピ

平成 30 年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	出産祝い金支給事業（地方創生）

所管課	126	こども未来課	（健康福祉部）

事業の目的	新生児の誕生を祝うとともに、健やかな成長を願い、出産祝い品を支給することで、子育て世代の経済的負担の軽減と定住促進を図る。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	2	総務費
項	1	総務管理費
目	18	地方創生総合事業費
細目	4	地方創生総合事業費（こども未来課）

根拠条例等	宇陀市出産祝い金支給要綱
総合計画	基本計画　第2章　第5節　子育て支援が充実したまち

H30年度事業の概要	対象：宇陀市に住所を有する者で、出産しかつ宇陀市に住所を定めた者 内容：出産祝い金として、地域経済の振興に期待できるウッピー商品券（10,000円）を配布すると共に、子育て世帯の経済的負担の軽減と定住促進に寄与する。 10,000円×150人＝1,500,000円 郵送料　82円×150人＝12,300円
事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）	実績（支給件数） 平成22年度　160件 平成23年度　180件 平成24年度　150件 平成25年度　180件 平成26年度　150件 平成27年度　145件 平成28年度　147件

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	1,513
H30予算額	1,513
H29当初予算額	1,513
H29現計予算額	1,513
増減額	

事　業　の　コ　ス　ト	平成28年度（実績）	平成29年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）	1,470	1,513
従事職員数【人工】	0.10	0.10
人件費（人工×8,000千円）	800	800
総事業費：人件費含む（千円）	2,270	2,313
【活動指標の根拠】 総合計画(行政評価) ・ 総合戦略 ・ その他(　　)		
活動指標名	出生者数	
活動指標の算式	―	
活動指標の実績(見込)	147 単位 人	150 単位 人
単位当たりコスト　（円）	15,442	15,420

特定財源の状況

備考
＜予算案のポイント＞
【重点事業】
4.こども未来創造プロジェクト
(5)便利な田舎宇陀のレシピ

平成 30 年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	ファーストバースデー祝い品事業（地方創生）

所管課	126	こども未来課	（健康福祉部）

事業の目的	誕生後、初めての誕生日を迎える幼児が健やかに成長することを願い、誕生祝い品として絵本を贈呈し、本に親しむ習慣を育むことを目的とし、かつ子育て世代の定着化を図る。

宇陀市一般会計予算

区分	No.	区分名
款	2	総務費
項	1	総務管理費
目	18	地方創生総合事業費
細目	4	地方創生総合事業費（こども未来課）

根拠条例等	宇陀市ファーストバースデー祝品贈呈事業実施要綱
総合計画	基本計画　第2章　第5節　子育て支援が充実したまち

H30年度事業の概要	対象：宇陀市に住所を有し、当該事業年度において1歳に達する子どもの保護者 内容：満1歳の誕生日を迎える幼児1人に3,000円相当の祝い品（絵本・バースデーカード・絵本バック）を贈呈。 絵本の贈呈リストを絵本カタログやHPを通して推奨し、保護者が絵本を選択する。 絵本 2,700円×150人＝405,000円 バースデーカード 220円×150人＝33,000円 絵本バック 320円×150枚×1.08＝51,840円 案内通知 140円×150人＝21,000円
事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）	子どもに絵本の読み聞かせを通して親子の関係が密になることで、子どもの心が安定し、豊かな心が育ち、また幼児期から本に親しむことで読書好きの子どもに育つことを目的とする。

財源の内訳　（単位：千円）

分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	511
H30予算額	511
H29当初予算額	524
H29現計予算額	524
増減額	▲ 13

事業のコスト	平成28年度（実績）	平成29年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）	601	524
従事職員数【人工】	0.10	0.10
人件費（人工×8,000千円）	800	800
総事業費：人件費含む（千円）	1,401	1,324
【活動指標の根拠】 総合計画(行政評価) ・ 総合戦略 ・ その他(　　)		
活動指標名	対象児童	
活動指標の算式	―	
活動指標の実績(見込)	135 単位 人	150 単位 人
単位当たりコスト　（円）	10,378	8,827

特定財源の状況

備考	＜予算案のポイント＞ 【重点事業】 4.こども未来創造プロジェクト (5)便利な田舎宇陀のレシピ

平成 30 年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	ぴかぴか1年生応援事業（地方創生）

所管課	126	こども未来課	（健康福祉部）

事業の目的	子育て世帯への教育支援として、子育て家庭の経済的負担を軽減するため、小学校及び中学校入学を迎える入学準備金として補助を行う。子育て家庭の子どもの生活の安定や福祉の増進を図る。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	2	総務費
項	1	総務管理費
目	18	地方創生総合事業費
細目	4	地方創生総合事業費（こども未来課）

根拠条例等	宇陀市ぴかぴか1年生応援給付金支給要綱
総合計画	基本計画　第2章　第5節　子育て支援が充実したまち

H30年度事業の概要	対象：宇陀市在住で小学1年生、中学1年生を養育する児童の保護者 内容：小学校1年生又は中学校1年生の児童がいる家庭の経済的負担の軽減を図るため、児童一人あたり10,000円（ウッピー商品券）を支給 補助額　10,000円×182人＝1,820,000円（小学1年） 10,000円×233人＝2,330,000円（中学1年） 郵送料　82円×415人＝34,030円
事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）	・子育てや教育にかかる費用を補助することにより子育て世代の経済的援助を図る。 ・地元業者の地域活性を図る。 ・少子化対策の推進を図る。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	4,185
H30予算額	4,185
H29当初予算額	4,134
H29現計予算額	4,134
増減額	51

事　業　の　コ　ス　ト	平成28年度（実績）	平成29年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）	4,440	4,134
従事職員数【人工】	0.20	0.20
人件費（人工×8,000千円）	1,600	1,600
総事業費：人件費含む（千円）	6,040	5,734
【活動指標の根拠】 総合計画(行政評価) ・ 総合戦略 ・ その他(　　)		
活動指標名	支給児童数	
活動指標の算式	―	
活動指標の実績(見込)	444 単位 人	410 単位 人
単位当たりコスト　（円）	13,604	13,985

特定財源の状況

備考	＜予算案のポイント＞ 【重点事業】 4.こども未来創造プロジェクト (5)便利な田舎宇陀のレシピ

平成 30 年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	トリプルチルドレン応援事業（地方創生）

所管課	126	こども未来課	（健康福祉部）

事業の目的

多子家庭の経済的負担の軽減を図るため、トリプルチルドレン応援給付金を支給することにより、家庭における子育て環境及び教育環境を充実させることを目的とする。

宇陀市一般会計予算

区分	No.	区分名
款	2	総務費
項	1	総務管理費
目	18	地方創生総合事業費
細目	4	地方創生総合事業費（こども未来課）

根拠条例等	宇陀市トリプルチルドレン応援給付金支給要綱
総合計画	基本計画　第2章　第5節　子育て支援が充実したまち

H30年度事業の概要

多子家庭の経済的負担の軽減を図るため、宇陀市トリプルチルドレン応援給付金を支給することにより、家庭における子育て環境及び教育環境を充実させる。
【給付内容】
第3子　50,000円（ウッピー商品券）
第4子以降　100,000円（ウッピー商品券）

（単位：円）

第3子	39 人	1,950,000
第4子以上	10 人	1,000,000
計		2,950,000

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

平成27年度実績
第3子（50,000円）×38人＝1,900,000円
第4子以降（100,000円）×9人＝900,000円

平成28年度実績
第3子（50,000円）×28人＝1,400,000円
第4子（100,000円）×13人＝1,300,000円

財源の内訳　（単位：千円）

分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	2,950
H30予算額	2,950
H29 当初予算額	3,250
H29 現計予算額	3,250
増減額	▲ 300

事　業　の　コ　ス　ト	平成28年度（実績）	平成29年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）	2,700	2,450
従事職員数【人工】	0.10	0.10
人件費（人工×8,000千円）	800	800
総事業費：人件費含む（千円）	3,500	3,250

【活動指標の根拠】 総合計画（行政評価） ・ 総合戦略 ・ その他（　　）

活動指標名	対象児童数					
活動指標の算式	―					
活動指標の実績(見込)	41	単位	人	52	単位	人
単位当たりコスト　（円）	85,366			62,500		

特定財源の状況

備考
＜予算案のポイント＞
【重点事業】
4.こども未来創造プロジェクト
(5)便利な田舎宇陀のレシピ

平成 30 年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	うだこども元気づくりプロジェクト事業（地方創生）

所管課	126	こども未来課	（健康福祉部）

事業の目的	健幸都市「ウェルネスシティ宇陀市」の目標として「こどもの体力向上」を掲げている。市内幼児の運動能力が低いという結果から、人間形成の土台となる幼児教育に重点を置き、運動による脳への刺激により、心身共に成長させ、幼児の体力向上に努める。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	2	総務費
項	1	総務管理費
目	18	地方創生総合事業費
細目	4	地方創生総合事業費（こども未来課）

根拠条例等	
総合計画	基本計画　第2章　第5節　子育て支援が充実したまち

H30年度事業の概要	市内の幼稚園、保育所、こども園の教育・保育カリキュラムの中に専門的分野での体育指導を行い、より効果的な運動遊びを取り入れて幼児の体力向上を図る。運動は知育の発達と深い関係があることから、幼児期に体を動かす機会を多く与え、神経、脳、精神を刺激し、心身共により成長させ、幼児の発達を見据え、定期的に体育指導を行う。 運動能力向上体育指導委託料　市内7園 7園×3回×11,800円＝247,800円
事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）	専門的な指導を計画的にカリキュラムに組み入れることで、運動に対する興味や意欲を高め、また教師自身も効果的な取り入れ方を学び、それが普段の保育にもつながっていくと考える。 またその刺激が家庭にも反映され、心身ともに健康で元気な子どもの育成を目指す。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	248
H30予算額	248
H29当初予算額	248
H29現計予算額	248
増減額	

事　業　の　コ　ス　ト	平成28年度（実績）	平成29年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）	248	248
従事職員数【人工】	0.10	0.10
人件費（人工×8,000千円）	800	800
総事業費：人件費含む（千円）	1,048	1,048
【活動指標の根拠】 総合計画(行政評価) ・ 総合戦略 ・ その他(　　)		
活動指標名	対象児童	
活動指標の算式	―	
活動指標の実績(見込)	1,230 単位 人	1,167 単位 人
単位当たりコスト　（円）	852	898

特定財源の状況

備考	＜予算案のポイント＞ 【重点事業】 4.こども未来創造プロジェクト (10)うだこども元気づくりプロジェクト事業

平成 30 年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	子どもフェスタ実行委員会補助金事業（地方創生）

所管課	602	生涯学習課	（教育委員会事務局）

事業の目的	遊び体験を通じて仲間づくりや参加者の交流を深めるとともに、豊かな感性を育み、未来を担う宇陀市の子どもたちの健全育成に努める。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	2	総務費
項	1	総務管理費
目	18	地方創生総合事業費
細目	6	地方創生総合事業費（生涯学習課）

根拠条例等	
総合計画	基本計画　第4章　第4節　生涯学習の充実

H30年度事業の概要	実行委員会補助金　850千円
事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）	子どもたちにより多くの遊び体験の場や交流の機会を提供し、規範意識や仲間意識を醸成するとともに、市内の子ども達が一堂に会する機会を設け宇陀市の一体感を醸成する。 テーマ　つながれ心！　ひろがれ笑顔！ 内　容　紙ひこうき大会・チャレンジランキング・スポーツ体験 ドクターイエロー・音楽コンサート・紙芝居

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	850
H30予算額	850
H29当初予算額	850
H29現計予算額	850
増減額	

事　業　の　コ　ス　ト	平成28年度（実績）	平成29年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）	579	829
従事職員数【人工】	0.30	0.30
人件費（人工×8,000千円）	2,400	2,400
総事業費：人件費含む（千円）	2,979	3,229

【活動指標の根拠】 総合計画（行政評価） ・ 総合戦略 ・ その他（　　）

活動指標名	参加者数					
活動指標の算式	—					
活動指標の実績(見込)		単位		1,600	単位	人
単位当たりコスト　（円）				2,018		

特定財源の状況

備考	＜予算案のポイント＞ 【重点事業】 4.こども未来創造プロジェクト (16)“宇陀子どもフェスタ2018”開催費

平成 30 年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	ラジオ体操事業（地方創生）

所管課	602	生涯学習課	（教育委員会事務局）

事業の目的	市民が健康で生きがいを感じ、安心して豊かな生活を送れるまち、ウェルネスシティ宇陀市を目指して、いつでも、どこでも、だれでもできるラジオ体操の普及と健康増進を図る。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	2	総務費
項	1	総務管理費
目	18	地方創生総合事業費
細目	6	地方創生総合事業費（生涯学習課）

根拠条例等	
総合計画	基本計画　第4章　第5節　スポーツ・レクリエーションの充実

H30年度事業の概要	市民が一同に会しラジオ体操を実施。 消耗品　100,000円 チラシ　65,000円 傷害保険　33,000円 参加者飲料水等　118,000円
事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）	ウェルネスシティ宇陀市を目指してラジオ体操の普及と健康増進を図る。 平成29年度 8月23日　総合運動場において実施 参加者700人

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	316
H30予算額	316
H29当初予算額	368
H29現計予算額	368
増減額	▲ 52

事業のコスト	平成28年度（実績）	平成29年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）		338
従事職員数【人工】		0.03
人件費（人工×8,000千円）		240
総事業費：人件費含む（千円）		578
【活動指標の根拠】 総合計画（行政評価）・ 総合戦略 ・ その他（　　）		
活動指標名	参加者数	
活動指標の算式	―	
活動指標の実績(見込)	単位	700 単位 人
単位当たりコスト　（円）		826

特定財源の状況

備考
＜予算案のポイント＞
【重点事業】
2.健康なまちづくりプロジェクト
(1)“ウェルネスシティ”推進事業

平成 30 年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	大和高原スポーツツーリズム推進プロジェクト【自転車のまちづくり事業】（地方創生）

所管課	602	生涯学習課	（教育委員会事務局）

事業の目的	
	教育活動の一環として、高等学校生徒に広くスポーツ実践の機会を与え、機能の向上とスポーツ精神の高揚を図るとともに、生徒相互の親睦を深め、心身ともに健全な青少年を育成する。近畿高校総体を実施することで、スポーツを基軸とした奈良県東部振興を図る。 また、奈良県南部東部振興のため、サイクリングイベントを奈良県スポーツ振興課が事務局となり実行委員会を組織し、開催するための負担金を支出する。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	2	総務費
項	1	総務管理費
目	18	地方創生総合事業費
細目	6	地方創生総合事業費（生涯学習課）

根拠条例等	
総合計画	基本計画　第4章　第5節　スポーツ・レクリエーションの充実

H30年度事業の概要	
	近畿総体（自転車ロードレース） 会場環境整備に伴う消耗品等　332千円 ツアーオブ奈良まほろば開催負担金　300千円 サイクリングツアー等の開催（予定）
事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）	近畿総体については、将来にわたり継続的に実施し、インターハイのみならず、社会人大会や、よりグレードの高い大会を実施し、全国に自転車競技は奈良県宇陀市と知られることを目標とする。 また、サイクリングツアーでは、宇陀市の資源（人・食・産業・観光等）を活用した参加者への「おもてなし」を通じ、リピーターとして訪れてもらえるよう市のPRを積極的に行う。 スポーツの振興によりウェルネスシティの一翼を担うとともに、奈良県東部振興に寄与する。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	632
H30予算額	632
H29当初予算額	1,314
H29現計予算額	1,314
増減額	▲ 682

事　業　の　コ　ス　ト	平成28年度（実績）	平成29年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）	760	1,280
従事職員数【人工】	0.20	0.20
人件費（人工×8,000千円）	1,600	1,600
総事業費：人件費含む（千円）	2,360	2,880
【活動指標の根拠】 総合計画（行政評価）・ 総合戦略 ・ その他（　　）		
活動指標名	参加者数	
活動指標の算式	―	
活動指標の実績(見込)	1,246 単位 人	1,231 単位 人
単位当たりコスト　（円）	1,894	2,340

特定財源の状況

備考	＜予算案のポイント＞ 【重点事業】 1.にぎわいづくり創造プロジェクト [地域経済の活性化] (5)大和高原スポーツツーリズム推進プロジェクト

平成 30 年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	学校・地域パートナーシップ事業（地方創生）

所管課	602	生涯学習課	（教育委員会事務局）

事業の目的	青少年の規範意識や社会性の低下の要因として、親子のふれあいや信頼関係の希薄化、家庭や地域の教育機能の低下等が考えられるため、学校、家庭、地域が一体となり、地域ぐるみで子育てをする体制を構築することでこれらを解消し、子ども自身の力を伸ばし、青少年の健全育成と地域の連帯、ふれあいを深めることを目的とする。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	2	総務費
項	1	総務管理費
目	18	地方創生総合事業費
細目	6	地方創生総合事業費（生涯学習課）

根拠条例等	
総合計画	基本計画　第4章　第4節　生涯学習の充実

H30年度事業の概要	子ども活動支援事業 放課後子ども教室事業
事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）	●子ども活動支援事業（H29） 4中学校・6小学校 学習支援活動・登下校安全指導・環境整備等 ●放課後子ども教室（H29） 4中学校・6小学校区 学習指導、平和学習、工作教室、施設訪問等 未来を担う子どもたちを健やかに育むために、地域全体で教育に取り組む体制をつくり、地域全体の教育力の向上を目指す。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	2,068
市　債	
その他	
一般財源	1,049
H30予算額	3,117
H29 当初予算額	3,006
H29 現計予算額	3,006
増減額	111

事　業　の　コ　ス　ト	平成28年度（実績）	平成29年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）	2,577	3,006
従事職員数【人工】	0.10	0.10
人件費（人工×8,000千円）	800	800
総事業費：人件費含む（千円）	3,377	3,806
【活動指標の根拠】 総合計画（行政評価）・ 総合戦略 ・ その他（　　）		
活動指標名	参加者数（小中学校生徒数）	
活動指標の算式	―	
活動指標の実績(見込)	2,103 単位 人	2,021 単位 人
単位当たりコスト　（円）	1,606	1,883

特定財源の状況
学校・地域パートナーシップ事業 補助金　2,068千円

備考	＜予算案のポイント＞ 【重点事業】 4.こども未来創造プロジェクト (17)学校教育における児童生徒の学習意欲の増進

平成 30 年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	外国語活動指導助手設置事業（市単独事業）（地方創生）

所管課	606	教育総務課	（教育委員会事務局）

事業の目的	「新学習指導要領」に基づき、小学校5～6年生の授業に外国語活動が取り入れられた。 授業にネイティブスピーカーを助手として採用することで、外国語の授業が充実するとともに、子どもの頃から外国の文化や習慣の違いなどにふれる機会を創出することができる。 外国語活動においては、音声を中心に慣れ親しませる活動を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成する。

宇陀市一般会計予算

区分	No.	区分名
款	2	総務費
項	1	総務管理費
目	18	地方創生総合事業費
細目	7	地方創生総合事業費（教育総務課）

根拠条例等	
総合計画	基本計画　第4章　第3節　教育環境の整備・充実

H30年度事業の概要	外国人英語指導助手（ALT）派遣業務委託料 市内小学校1年生から6年生に対して外国語活動を実施する。 幼稚園・保育所及び支援センターを訪問し英語指導を実施する。
事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）	平成29年度の取り組みについての各校からの報告 ネイティブの発音が児童に力をつけている。 英語の聞き取りが進む。 外国人との交流は、外国語学習の大いなる動機付けになる。 英語だけでなく異文化に関しても具体的に学べる。 教師の英語力の向上につながる。 小学生の英語必修化に向けての導入につながる

財源の内訳　（単位：千円）

分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	6,891
H30予算額	6,891
H29 当初予算額	7,128
H29 現計予算額	7,128
増減額	▲ 237

事　業　の　コ　ス　ト	平成28年度（実績）	平成29年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）	7,443	7,128
従事職員数【人工】	0.10	0.10
人件費（人工×8,000千円）	800	800
総事業費：人件費含む（千円）	8,243	7,928
【活動指標の根拠】 総合計画(行政評価) ・ 総合戦略 ・ その他(　　)		
活動指標名	配置人数	
活動指標の算式	―	
活動指標の実績(見込)	2 単位 人	2 単位 人
単位当たりコスト　（円）	4,121,500	3,964,000

特定財源の状況

備考	＜予算案のポイント＞ 【重点事業】 4.こども未来創造プロジェクト (17)学校教育における児童生徒の学習意欲の増進

平成 30 年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	学力・学習状況調査（地方創生）

所管課	606	教育総務課	（教育委員会事務局）

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	2	総務費
項	1	総務管理費
目	18	地方創生総合事業費
細目	7	地方創生総合事業費（教育総務課）

事業の目的

児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。

根拠条例等	宇陀市教育センター事業実施要綱
総合計画	基本計画　第4章　第3節　教育環境の整備・充実

H30年度事業の概要

小学校5年生、中学校2年生を対象とし、奈良県が実施している学力・学習状況調査と同様のテストである「平成30年度標準学力調査」を実施する。
対象人数
小5・・・221人　　中2・・・213人

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

この調査を実施することにより、文部科学省、奈良県教育委員会が実施している学力・学習状況調査と合わせ、小学校4年生から中学校3年生までの6年間を通した同一集団における学力の推移を把握することが可能となる。また、教科（国語、算数・数学）学力と生活・学習意識との相関から課題を明らかにし、教育指導に生かすことで学力の向上を図っていく。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	523
H30予算額	523
H29 当初予算額	539
H29 現計予算額	539
増減額	▲ 16

事　業　の　コ　ス　ト	平成28年度（実績）	平成29年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）	522	539
従事職員数【人工】	0.30	0.30
人件費（人工×8,000千円）	2,400	2,400
総事業費：人件費含む（千円）	2,922	2,939

【活動指標の根拠】 総合計画(行政評価) ・ 総合戦略 ・ その他(　　)

活動指標名	対象人数					
活動指標の算式	―					
活動指標の実績(見込)	449	単位	人	425	単位	人
単位当たりコスト　（円）	6,508			6,915		

特定財源の状況

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
4.こども未来創造プロジェクト
(17)学校教育における児童生徒の学習意欲の増進

平成 30 年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	家庭教育力支援事業（教育相談「就学」）（地方創生）

所管課	606	教育総務課	（教育委員会事務局）

事業の目的

発達や不登校についての親や教職員の悩みを心理的な立場から相談を行い少しでも解消する。また、就学に向けての就学相談を行う。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	2	総務費
項	1	総務管理費
目	18	地方創生総合事業費
細目	7	地方創生総合事業費（教育総務課）

根拠条例等	宇陀市教育センター事業実施要綱
総合計画	基本計画　第4章　第3節　教育環境の整備・充実

H30年度事業の概要

臨床心理士等による教育相談、就学相談

科目		予算額	備考
報償費	講師謝礼	624千円	就学指導にかかる就学相談
需用費	消耗品費等	35千円	発達検査用紙他
役務費	通信運搬費	2千円	申込書郵送料
合計		661千円	

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

臨床心理士による教育相談。
発達障害や不登校についての悩みを持った保護者が多い中、専門の相談員による相談や発達検査を行うため、年々相談件数が増えている。

財源の内訳	（単位：千円）
分担金	
使用料	
国費	
県費	
市債	
その他	
一般財源	661
H30予算額	661
H29当初予算額	679
H29現計予算額	679
増減額	▲ 18

事業のコスト	平成28年度（実績）	平成29年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）	454	666
従事職員数【人工】	0.40	0.40
人件費（人工×8,000千円）	3,200	3,200
総事業費：人件費含む（千円）	3,654	3,866

【活動指標の根拠】 総合計画(行政評価) ・ 総合戦略 ・ その他(　　)

活動指標名	相談件数					
活動指標の算式	―					
活動指標の実績(見込)	70	単位	件	66	単位	件
単位当たりコスト（円）	52,200			58,576		

特定財源の状況

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
4.こども未来創造プロジェクト
(17)学校教育における児童生徒の学習意欲の増進

平成 30 年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	JFAこころのプロジェクト「夢の教室」事業（地方創生）

所管課	606	教育総務課	（教育委員会事務局）

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	2	総務費
項	1	総務管理費
目	18	地方創生総合事業費
細目	7	地方創生総合事業費（教育総務課）

事業の目的

財団法人日本サッカー協会の協力により、JFAこころのプロジェクト「夢の教室」を全小学校で開催し、夢を持つことの大切さ、仲間と協力することの大切さ、フェアプレー精神の大切さを児童に伝える。
また、伝統能楽授業を実施する。

根拠条例等	小学校学習指導要領
総合計画	基本計画　第4章　第3節　教育環境の整備・充実

H30年度事業の概要

財団法人日本サッカー協会の協力により、JFAこころのプロジェクト「夢の教室」を市内全小学校の5年生を対象に開催する。
講師謝礼　1,380千円

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

本物のスポーツ選手に直接触れることで、夢を持って努力することの大切さを学び、ルールを守ることやフェアプレー精神を学ぶことで規範意識が醸成され、仲間と助け合うことで、社会性を身につけていくなど、本事業の有効性は相当に高い。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	1,380
一般財源	
H30予算額	1,380
H29 当初予算額	1,433
H29 現計予算額	1,433
増減額	▲ 53

事　業　の　コ　ス　ト	平成28年度（実績）	平成29年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）	1,317	1,370
従事職員数【人工】	0.30	0.30
人件費（人工×8,000千円）	2,400	2,400
総事業費：人件費含む（千円）	3,717	3,770
【活動指標の根拠】 総合計画(行政評価) ・ 総合戦略 ・ その他(　　)		
活動指標名	実施学校数	
活動指標の算式	―	
活動指標の実績(見込)	6 単位 校	6 単位 校
単位当たりコスト　（円）	619,500	628,333

特定財源の状況

ふるさと応援基金繰入金　1,380千円

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
4.こども未来創造プロジェクト
(18)JFAこころのプロジェクト「夢の教室」事業

平成 30 年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	子どもたちの夢を育む育成事業（地方創生）

所管課	606	教育総務課	（教育委員会事務局）

事業の目的	幼児の情操教育の一環として本物に触れ、豊かな感性や表現力、優しさや想像力を養うために行う。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	2	総務費
項	1	総務管理費
目	18	地方創生総合事業費
細目	7	地方創生総合事業費（教育総務課）

根拠条例等	宇陀市教育センター事業実施要綱
総合計画	基本計画　第4章　第3節　教育環境の整備・充実

H30年度事業の概要	市内園児3，4，5歳児が集まり、音楽に親しむ機会を持つ。 音楽家を呼び、楽器の生演奏を聴くとともに一緒に歌ったりリズムに乗って体を動かすなど、音楽や体を動かす事への興味関心を高める。
事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）	音楽に係わる経験が幼児の情操を高め、将来の音楽を楽しむ生活及び興味や意欲につながっていくと考える。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	250
一般財源	
H30予算額	250
H29当初予算額	240
H29現計予算額	240
増減額	10

事　業　の　コ　ス　ト	平成28年度（実績）	平成29年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）	263	240
従事職員数【人工】	0.20	0.20
人件費（人工×8,000千円）	1,600	1,600
総事業費：人件費含む（千円）	1,863	1,840
【活動指標の根拠】 総合計画(行政評価) ・ 総合戦略 ・ その他( )		
活動指標名	参加人数	
活動指標の算式	―	
活動指標の実績(見込)	413 単位 人	390 単位 人
単位当たりコスト　（円）	4,511	4,718

特定財源の状況
ふるさと応援基金繰入金　250千円

備考	＜予算案のポイント＞ 【重点事業】 4.こども未来創造プロジェクト (19)子どもたちの夢を育む育成事業

平成 30 年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	学力・体力向上事業（地方創生）

所管課	606	教育総務課	（教育委員会事務局）

事業の目的

宇陀市の教育の諸課題に即応して円滑な運営を図り、教育の充実発展に資することを目的として、専門家の派遣指導等により教職員の指導のさらなる向上を図り、子どもの学力・体力向上につなげる。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	2	総務費
項	1	総務管理費
目	18	地方創生総合事業費
細目	7	地方創生総合事業費（教育総務課）

根拠条例等	宇陀市教育センター事業実施要綱
総合計画	基本計画　第4章　第3節　教育環境の整備・充実

H30年度事業の概要

科目		予算額	備考
報償費	講師謝礼	1,205千円	各種研修講師謝礼
旅費	普通旅費	16千円	心理士他出張旅費
需用費	消耗品費等	263千円	消耗品等
	印刷製本費	200千円	指導指針等印刷代
負担金、補助及び交付金	研修負担金	136千円	調査・研究　指定校補助金等
合計		1,820千円	

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

教職員研修、特別支援教育専門家チーム派遣、保育の質向上研修、乳幼児ふれあい体験学習事業等を行っている。
教職員研修については、講師として大学教授、弁護士などの専門家に授業等の進め方や学校管理・運営についての講演を主としてしていただき、大変参考になったと好評である。特別支援教育心理等専門家チーム派遣については、実際の学校生活における子どもの様子を見ていただいた上での指導・助言を得ることができることもあり特別支援学級入級者の増加する中、現場からの要望が多い。
また、今後の小中連携を見据えた調査研究を行う。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	150
県　費	200
市　債	
その他	
一般財源	1,470
H30予算額	1,820
H29 当初予算額	2,029
H29 現計予算額	2,029
増減額	▲ 209

事業のコスト	平成28年度（実績）	平成29年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）	1,044	1,342
従事職員数【人工】	1.00	1.00
人件費（人工×8,000千円）	8,000	8,000
総事業費：人件費含む（千円）	9,044	9,342
【活動指標の根拠】 総合計画(行政評価) ・ 総合戦略 ・ その他( )		
活動指標名	研修回数	
活動指標の算式	―	
活動指標の実績(見込)	40 単位 回	40 単位 回
単位当たりコスト　（円）	226,100	233,550

特定財源の状況

子ども子育て支援体制整備総合推進事業費補助金　150千円
主体的・対話的で深い学びの推進事業委託金　200千円

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
4.こども未来創造プロジェクト
(21)学力・体力向上事業（教育センター）

平成 30 年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	新規	事業名	使える外国語教育推進事業

所管課	606	教育総務課	（教育委員会事務局）

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	2	総務費
項	1	総務管理費
目	18	地方創生総合事業費
細目	7	地方創生総合事業費（教育総務課）

事業の目的

グローバル化への対応を目指し、現在小学校5･6年生に導入している外国語活動を小学校3･4年生に前倒しし、教師の英語指導力の向上、児童の外国語･英語への関心を深め、学力向上をめざす。

根拠条例等	
総合計画	基本計画　第4章　第3節　教育環境の整備･充実

H30年度事業の概要

オンラインスピーキングシステムをモデル校に導入し、学習指導要領に対応したカリキュラムにより実践的なスピーキング力･リスニング力を向上させる。
小学5年生（11回線）178,200円×2校＝356,400円
小学6年生（12回線）194,400円×2校＝388,800円
職員分　（8回線）　129,600円

事業の目標･成果（これまでの成果，今後の見通し）

オンラインスピーキングシステムを導入し、学習指導要領に対応したカリキュラムにより、実践的なスピーキング力･リスニング力を向上させ、児童の指導へとつなげる。直接、外国と回線をつなぎ正しい発音等を学び、児童の英語への関心を高めることができる。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	875
H30予算額	875
H29当初予算額	
H29現計予算額	
増減額	875

事業のコスト	平成28年度（実績）	平成29年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）		
従事職員数【人工】		
人件費（人工×8,000千円）		
総事業費：人件費含む（千円）		
【活動指標の根拠】 総合計画(行政評価) ・ 総合戦略 ・ その他(　　)		
活動指標名		
活動指標の算式		
活動指標の実績(見込)	単位	単位
単位当たりコスト　（円）		

特定財源の状況

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
4.こども未来創造プロジェクト
(17)学校教育における児童生徒の学習意欲の増進

年度	会計	区分	所属
〈2018〉	〈1〉	〈2-1-18-7〉	〈606〉

平成 30 年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	新規	事業名	学校教育活動支援事業（学力向上指導員）（地方創生）

所管課	606	教育総務課	（教育委員会事務局）

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	2	総務費
項	1	総務管理費
目	18	地方創生総合事業費
細目	7	地方創生総合事業費（教育総務課）

事業の目的	放課後の学習機会を確保し、学力向上を目的とした学校教育活動支援を行う。
根拠条例等	
総合計画	基本計画　第4章　第3節　教育環境の整備・充実
H30年度事業の概要	退職教職員や教員志望の大学生など教育分野に知見のある人材により放課後等に補習や発展的な学習への対応を行う。 （平成30年度はモデル校2校により実施） 指導員謝金　800千円
事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）	通塾できないなど学習機会の格差の解消を図り、学習意欲・規範意識の向上を図り、学力向上につなげる。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	800
H30予算額	800
H29当初予算額	
H29現計予算額	
増減額	800

事　業　の　コ　ス　ト	平成28年度（実績）	平成29年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）		
従事職員数【人工】		
人件費（人工×8,000千円）		
総事業費：人件費含む（千円）		
【活動指標の根拠】 総合計画(行政評価) ・ 総合戦略 ・ その他(　　)		
活動指標名		
活動指標の算式		
活動指標の実績(見込)	単位	単位
単位当たりコスト　（円）		

特定財源の状況	
備考	＜予算案のポイント＞ 【重点事業】 4.こども未来創造プロジェクト (17)学校教育における児童生徒の学習意欲の増進

平成 30 年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	宇陀市特産品・名産品PR事業（地方創生）

所管課	141	産業企画課	（農林商工部）

事業の目的	市特産品・名産品を市内外に推奨することで、地域産業の活性化を目指すとともに、地産地消を促進させ、生産者の生産意欲、地域所得の向上を図る。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	2	総務費
項	1	総務管理費
目	18	地方創生総合事業費
細目	8	地方創生総合事業費（産業企画課）

根拠条例等	
総合計画	基本計画　第5章　第2節　商工業の活性化

H30年度事業の概要	市内外での特産品・名産品のPR事業 ・旅費　104千円 ・需用費　70千円 ・役務費　13千円 ・会場使用料等　349千円 合計　536千円
事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）	市外において、市内の特産品・名産品のほか観光情報やイベント情報を広くPRすることで、市の知名度の向上を図り、地域所得の向上と産業の活性化を図れた。 また平成29年度での県の南部東部振興物産販売促進支援事業の終了に伴い、市独自で市外での物産販売を行うことで、市商品のPR等を図る。 平成28年度の主なPR事業 ・奥大和ゆうゆう祭 ・豊かな海づくり大会 ・王寺ミルキーウェイ ・記紀万葉ウォーク

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	536
H30予算額	536
H29当初予算額	485
H29現計予算額	485
増減額	51

事業のコスト	平成28年度（実績）	平成29年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）	30	475
従事職員数【人工】	0.20	0.20
人件費（人工×8,000千円）	1,600	1,600
総事業費：人件費含む（千円）	1,630	2,075

【活動指標の根拠】 総合計画(行政評価) ・ 総合戦略 ・ その他(　　)

活動指標名	商品数					
活動指標の算式	―					
活動指標の実績(見込)	75	単位	品	80	単位	品
単位当たりコスト　（円）	21,733			25,938		

特定財源の状況

備考	＜予算案のポイント＞ 【重点事業】 1.にぎわいづくり創造プロジェクト [農林業・商工業の振興] (9)特産品・名産品等PR事業

平成 30 年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	アントレプレナー育成循環事業 【宇陀チャレンジアシスト補助金・特産品等開発補助金】（地方創生）

所管課	141	産業企画課	（農林商工部）

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	2	総務費
項	1	総務管理費
目	18	地方創生総合事業費
細目	8	地方創生総合事業費（産業企画課）

事業の目的

〇チャレンジアシスト補助金
　市内事業者の振興を支援し、製品の販路拡大を目的とした商談会、展示会への参加、出展や製品のPRのためのパンフレット等の制作等に対し、経費の一部を補助することで、市産業の活性化を図る。
〇特産品等開発補助金
　市内の農林産物を使用した新たな特産品等の開発に対し、経費の一部を補助することで、6次産業化を推進する。

根拠条例等	宇陀市特産品等開発補助事業に関する要綱、うだチャレンジアシスト補助金交付要綱
総合計画	基本計画　第5章　第1節　農林業の活性化

H30年度事業の概要

　製品の販路拡大及び市内の農林産物を活用した新規開発事業に対し、対象経費の補助（2分の1）を行う。

需用費　　24千円
役務費　　4千円
補助金　3,000千円

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

　市内事業者の販路拡大、新商品開発に向けた取り組みを支援することにより、市内産業の活性化と製品等のPRが図れる。
平成28年度実績
・販路拡大事業
　薬草ブランド化事業
　室生産ハチミツ販路開拓事業
・特産品開発事業
　玉ねぎドレッシング
　豆乳マヨネーズ

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	1,514
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	1,514
H30予算額	3,028
H29 当初予算額	3,022
H29 現計予算額	3,022
増減額	6

事　業　の　コ　ス　ト	平成28年度（実績）	平成29年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）	1,553	2,488
従事職員数【人工】	0.20	0.20
人件費（人工×8,000千円）	1,600	1,600
総事業費：人件費含む（千円）	3,153	4,088

【活動指標の根拠】 総合計画(行政評価) ・ 総合戦略 ・ その他(　　)

活動指標名	補助件数					
活動指標の算式	―					
活動指標の実績(見込)	4	単位	件	3	単位	件
単位当たりコスト　（円）	788,250			1,362,667		

特定財源の状況

地方創生推進交付金　1,514千円

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
1.にぎわいづくり創造プロジェクト
[農林業・商工業の振興]
(8)アントレプレナー（起業家）育成循環事業

平成 30 年度当初予算(案) 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	アントレプレナー育成循環事業 【中小企業等施設改修・設備投資補助金】(地方創生)

所管課	141	産業企画課	(農林商工部)

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	2	総務費
項	1	総務管理費
目	18	地方創生総合事業費
細目	8	地方創生総合事業費(産業企画課)

事業の目的	市内事業者の行う施設改修や設備投資に対し、経費の一部を補助することで、生産能力の向上やサービスの向上を図る。
根拠条例等	
総合計画	基本計画　第5章　第2節　商工業の活性化
H30年度事業の概要	補助額 補助対象経費の2分の1 上限　補助対象経費500万円以上　200万円 補助対象経費500万円未満　100万円
事業の目標・成果(これまでの成果,今後の見通し)	平成29年度　申請概要 施設改修　3件 設備投資　2件 小売事業者が宿泊施設等の施設改修、設備投資により、来訪者へのもてなしの向上を図るとともに、グリーンツーリズム等の事業者の拡大を図る。 製造業者等の行う施設改修、設備投資により、技術力・生産力の向上を図るとともに、施設の耐震化等につながり、安心して働ける職場環境を整え、雇用の促進につなげていく。

財源の内訳　(単位:千円)	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	6,000
H30予算額	6,000
H29当初予算額	4,000
H29現計予算額	4,000
増減額	2,000

事業のコスト	平成28年度(実績)	平成29年度(見込)
決算額又は決算見込額(千円)	3,696	4,000
従事職員数【人工】	0.20	0.20
人件費(人工×8,000千円)	1,600	1,600
総事業費:人件費含む(千円)	5,296	5,600
【活動指標の根拠】 総合計画(行政評価) ・ 総合戦略 ・ その他( )		
活動指標名	改修・投資件数	
活動指標の算式	―	
活動指標の実績(見込)	4 単位 件	5 単位 件
単位当たりコスト　(円)	1,324,000	1,120,000

特定財源の状況

備考
＜予算案のポイント＞
【重点事業】
1.にぎわいづくり創造プロジェクト
[農林業・商工業の振興]
(8)アントレプレナー(起業家)育成循環事業

平成 30 年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	新規	事業名	アントレプレナー育成循環事業 【中小企業支援ポータルサイト開設事業】（地方創生）

所管課	141	産業企画課	（農林商工部）

事業の目的	市内中小企業に対して、国、県等からの支援情報を一元化し、スムーズな情報の提供を行うため、ポータルサイトを開設する。また、市内事業者に呼びかけ、メールリストを作成し、メールによる情報提供も行っていく。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	2	総務費
項	1	総務管理費
目	18	地方創生総合事業費
細目	8	地方創生総合事業費（産業企画課）

根拠条例等	
総合計画	基本計画　第5章　第2節　商工業の活性化

H30年度事業の概要	ポータルサイト作成委託料　1,000千円
事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）	国・県等からの支援情報を一元化し、新たなビジネスの開拓、企業マッチングなど事業拡大に繋がるネットワークの実現により、産業振興を図る。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	1,000
H30予算額	1,000
H29当初予算額	
H29現計予算額	
増減額	1,000

事　業　の　コ　ス　ト	平成28年度（実績）	平成29年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）		
従事職員数【人工】		
人件費（人工×8,000千円）		
総事業費：人件費含む（千円）		
【活動指標の根拠】 総合計画（行政評価）・ 総合戦略 ・ その他（　　）		
活動指標名		
活動指標の算式		
活動指標の実績(見込)	単位	単位
単位当たりコスト　（円）		

特定財源の状況	
備考	＜予算案のポイント＞ 【重点事業】 1.にぎわいづくり創造プロジェクト [農林業・商工業の振興] (8)アントレプレナー（起業家）育成循環事業

平成 30 年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	アントレプレナー育成循環事業 【創業・既存企業等支援ネットワーク事業】（地方創生）

所管課	141	産業企画課	（農林商工部）

事業の目的	奈良県創業支援資金事業と連携し、宇陀市内での創業を支援するため、同資金の借入額に対し助成することで、市内での創業の支援を図る。 また、市創業支援計画に基づき、認定連携創業支援事業者である宇陀商工会と連携し、経営・財務等をテーマにしたセミナーを開催する。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	2	総務費
項	1	総務管理費
目	18	地方創生総合事業費
細目	8	地方創生総合事業費（産業企画課）

根拠条例等	宇陀市創業支援補助金交付要綱
総合計画	基本計画　第5章　第2節　商工業の活性化

H30年度事業の概要	奈良県が行う創業支援資金を受け、市内での創業を行う事業者に対し、同資金の借入額の10%を補助する。また、セミナー開催を宇陀商工会に委託する。 ・委託料　250千円 ・創業支援助成金　1,500千円
事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）	［創業セミナー］ H28年度　参加者　15名 奈良県融資制度と連携し、市内での創業、既存企業との連携を図ることにより、市内産業の活性化、空き店舗の活用を図る。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	875
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	875
H30予算額	1,750
H29 当初予算額	1,000
H29 現計予算額	1,000
増減額	750

事　業　の　コ　ス　ト	平成28年度（実績）	平成29年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）	200	250
従事職員数【人工】	0.20	0.20
人件費（人工×8,000千円）	1,600	1,600
総事業費：人件費含む（千円）	1,800	1,850
【活動指標の根拠】 総合計画（行政評価） ・ 総合戦略 ・ その他（　　）		
活動指標名	参加者数	
活動指標の算式	―	
活動指標の実績(見込)	15 単位 人	8 単位 人
単位当たりコスト　（円）	120,000	231,250

特定財源の状況
地方創生推進交付金　875千円

備考	＜予算案のポイント＞ 【重点事業】 1.にぎわいづくり創造プロジェクト ［農林業・商工業の振興］ (8)アントレプレナー（起業家）育成循環事業

平成 30 年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	アントレプレナー育成循環事業 【商品企画支援事業】（地方創生）

所管課	141	産業企画課	（農林商工部）

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	2	総務費
項	1	総務管理費
目	18	地方創生総合事業費
細目	8	地方創生総合事業費（産業企画課）

事業の目的	市内の農産物や加工品等を都市圏の百貨店等に継続して取引を行っていくため、商品企画やパッケージ等の開発、事業所相談等について、販路を見出す専門家を招き、産業の活性化を図っていく。
根拠条例等	
総合計画	基本計画　第5章　第2節　商工業の活性化
H30年度事業の概要	市内生産者が商店等の販路拡大に向けた相談及び販路拡大支援を行う。 委託料　1,500千円
事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）	平成28年度実績 販路開拓セミナーの実施 販路拡大、パッケージ等の個別相談窓口の開設 商品リサーチの実施 企業との商談の実施

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	750
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	750
H30予算額	1,500
H29 当初予算額	2,500
H29 現計予算額	2,500
増減額	▲ 1,000

事　業　の　コ　ス　ト	平成28年度（実績）	平成29年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）	2,777	2,000
従事職員数【人工】	0.20	0.20
人件費（人工×8,000千円）	1,600	1,600
総事業費：人件費含む（千円）	4,377	3,600
【活動指標の根拠】 総合計画（行政評価）・ 総合戦略 ・ その他（　　）		
活動指標名	活動回数	
活動指標の算式	―	
活動指標の実績(見込)	25 単位 人	20 単位 人
単位当たりコスト　（円）	175,080	180,000

特定財源の状況

地方創生推進交付金　750千円

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
1.にぎわいづくり創造プロジェクト
[農林業・商工業の振興]
(8)アントレプレナー（起業家）育成循環事業

平成 30 年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	薬草を活用したまちづくり事業（地方創生）

所管課	141	産業企画課	（農林商工部）

事業の目的

宇陀市で、日本最初の薬狩りが行われた様子の壁画が星薬科大学本館の壁画に描かれている。薬とゆかりのある宇陀を薬草のまちとして推進し、宇陀市で開催する全国薬草シンポジウムで大和当帰など宇陀の薬草の魅力を市内外に発信する。
また、新たな産業と地域活性化を図るため、薬草メニュー開発や一次加工品の薬効成分のある機能性成分を調査し、販売促進に取り組む事業者を支援する。

宇陀市一般会計予算

区分	No.	区分名
款	2	総務費
項	1	総務管理費
目	18	地方創生総合事業費
細目	8	地方創生総合事業費（産業企画課）

根拠条例等	
総合計画	基本計画　第5章　第2節　　商工業の活性化

H30年度事業の概要

○宇陀市薬草協議会補助金（苗配布、大和当帰根・葉の買取り調整等、当帰葉乾燥滅菌器購入）　3,610千円
○飲食店薬草メニュー開発補助金　1,000千円
○薬草料理マップ作成　90千円
○栄養機能食品支援事業　1,449千円
○全国薬草シンポジウム開催　5,630千円
○薬草PR事業　250千円

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

薬草栽培を推進し、宇陀市の新たな産業と地域活性化を図る。
薬草の6次産業化を推進し、宇陀市を薬草の産地とすることで、農業者所得の向上を図るとともに、薬草の魅力を周知し、ウェルネスシティ宇陀を推進していく。
また、地域おこし協力隊により薬草の普及活動や活用方法の拡大を図る。

財源の内訳　（単位：千円）

分担金	
使用料	
国　費	6,014
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	6,015
H30予算額	12,029
H29 当初予算額	6,102
H29 現計予算額	6,102
増減額	5,927

事業のコスト	平成28年度（実績）	平成29年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）	14,427	4,102
従事職員数【人工】	1.50	1.50
人件費（人工×8,000千円）	12,000	12,000
総事業費：人件費含む（千円）	26,427	16,102

【活動指標の根拠】 総合計画(行政評価) ・ 総合戦略 ・ その他(　　)

活動指標名	栽培者数					
活動指標の算式	―					
活動指標の実績(見込)	70	単位	人	80	単位	人
単位当たりコスト　（円）	377,529			201,275		

特定財源の状況

地方創生推進交付金　6,015千円

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
1.にぎわいづくり創造プロジェクト
[農林業・商工業の振興]
(1)薬草を活用したまちづくり事業

平成 30 年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	地域おこし協力隊設置事業（地方創生）

所管課	141	産業企画課	（農林商工部）

事業の目的	総務省のプログラム「地域おこし協力隊」を活用することで、市外の住民を隊員に委嘱し、本市が目指している薬草を活用したまちづくりを推進するとともに、隊員による起業により市内産業の活性化を図る。

宇陀市一般会計予算

区分	No.	区分名
款	2	総務費
項	1	総務管理費
目	18	地方創生総合事業費
細目	8	地方創生総合事業費（産業企画課）

根拠条例等	
総合計画	基本計画　第5章　第2節　　商工業の活性化

H30年度事業の概要	
	○共済費 345千円 ○賃金 1,992千円 ○旅費 273千円 ○謝礼金 30千円 ○需用費 503千円 ○役務費 554千円 ○使用料及び賃借料 1,090千円 ○負担金 1,030千円
事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）	地域おこし協力隊員により、薬草栽培、調整、薬草の6次産業化の推進、販路開拓等、薬草を活用したビジネスモデルの推進を行う。

財源の内訳　（単位：千円）

分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	5,817
H30予算額	5,817
H29当初予算額	3,600
H29現計予算額	3,600
増減額	2,217

事　業　の　コ　ス　ト	平成28年度（実績）	平成29年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）	3,039	3,600
従事職員数【人工】	0.20	0.20
人件費（人工×8,000千円）	1,600	1,600
総事業費：人件費含む（千円）	4,639	5,200
【活動指標の根拠】 総合計画(行政評価) ・ 総合戦略 ・ その他( )		
活動指標名	隊員数	
活動指標の算式	―	
活動指標の実績(見込)	1 単位 人	1 単位 人
単位当たりコスト　（円）	4,639,000	5,200,000

特定財源の状況

備考	＜予算案のポイント＞ 【重点事業】 1.にぎわいづくり創造プロジェクト [農林業・商工業の振興] (1)薬草を活用したまちづくり事業

平成 30 年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	宇陀市伝統技術後継者育成事業（地方創生）

所管課	146	商工観光課	（農林商工部）

事業の目的	奈良県と宇陀市の地場産業に認定されている毛皮革産業や、草木染め等をはじめとする伝統産業の後継者を全国または市内より募集し、それぞれの事業者とのマッチングにより支援することで産業の安定化、発展を図る。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	2	総務費
項	1	総務管理費
目	18	地方創生総合事業費
細目	9	地方創生総合事業費（商工観光課）

根拠条例等	
総合計画	基本計画　第5章　第2節　商工業の活性化

H30年度事業の概要	市内伝統技術者等にニーズ調査を行った後、全国に募集をかけて、後継者としての希望者を募る。そしてニーズのある事業者とマッチングを行う。 臨時職員賃金　800千円 伝統技術後継者事業委託料　500千円
事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）	本市伝統産業の後継者の不足による産業の衰退を抑止することにより、産業の安定化、地域の活性化、雇用の安定化等を目指す。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	1,300
H30予算額	1,300
H29 当初予算額	1,800
H29 現計予算額	1,800
増減額	▲ 500

事　業　の　コ　ス　ト	平成28年度（実績）	平成29年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）	145	1,800
従事職員数【人工】	0.01	0.01
人件費（人工×8,000千円）	80	80
総事業費：人件費含む（千円）	225	1,880
【活動指標の根拠】 総合計画(行政評価) ・ 総合戦略 ・ その他(　　)		
活動指標名		
活動指標の算式		
活動指標の実績(見込)	単位 件	単位 件
単位当たりコスト　（円）		

特定財源の状況

備考
＜予算案のポイント＞
【重点事業】
1.にぎわいづくり創造プロジェクト
[農林業・商工業の振興]
(10)宇陀市伝統的技術後継者育成事業

平成 30 年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	宇陀四季彩推進事業（地方創生）

所管課	146	商工観光課	（農林商工部）

事業の目的

全国的にも知名度がある室生寺を拠点とし、市内観光資源と結びつける。観光資源と自然環境を活かし、花の植栽や保護により将来を見据えた彩り美しい宇陀の観光地を形成する。また、ライトアップイベント等と環境を活かした事業展開を行うことにより、夜間の消費拡大、宿泊の促進を図る。さらに、植栽によるまちづくりを行い、宇陀市内各観光施設の活性化を目指す。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	2	総務費
項	1	総務管理費
目	18	地方創生総合事業費
細目	9	地方創生総合事業費（商工観光課）

根拠条例等	
総合計画	基本計画　第5章　第4節　観光の振興

H30年度事業の概要

（千円）

観光地植栽事業	
植栽苗、球根購入費	380
植栽及び管理委託	148
観光地ライトアップ等事業	
夜間ライトアップ拡充	3,300
二次交通対策費	230
チラシ・ポスター等制作費	668
観光ツール造成費	
モニターツアー経費	200
旅行商品セールス旅費等	276
合　計	5,202

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

○観光地のブラッシュアップによる活性化
　目標値：観光入り込み客数
　　1,220,000人（H26）→1,500,000人（H31）
○夜間イベント等による消費拡大、宿泊者の増加
　目標値：観光宿泊数
　　25,000人（H26）→40,000人（H31）
○植栽連携観光施設誘客事業による地域ブランドの確立。
　目標値：新規商品造成数
　　1商品（H27）→20商品（H31）

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	1,000
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	4,202
H30予算額	5,202
H29 当初予算額	5,500
H29 現計予算額	5,500
増減額	▲ 298

事　業　の　コ　ス　ト	平成28年度（実績）	平成29年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）	4,306	5,500
従事職員数【人工】	0.01	0.01
人件費（人工×8,000千円）	80	80
総事業費：人件費含む（千円）	4,386	5,580

【活動指標の根拠】 総合計画(行政評価) ・ 総合戦略 ・ その他(　　)

活動指標名	観光入り込み客数					
活動指標の算式	―					
活動指標の実績(見込)	1,400,560	単位	人	1,390,560	単位	人
単位当たりコスト　（円）	3			4		

特定財源の状況

地方創生推進交付金　1,000千円

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
1.にぎわいづくり創造プロジェクト
[観光振興 宇陀市の歴史的文化的資産の活用]
(1)にぎわいづくり創造事業

平成 30 年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	観光誘致促進事業（地方創生）

所管課	146	商工観光課	（農林商工部）

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	2	総務費
項	1	総務管理費
目	18	地方創生総合事業費
細目	9	地方創生総合事業費（商工観光課）

事業の目的

①市内団体観光客誘致の為、団体旅行を実施する事業者に助成を行う。
②近鉄榛原駅前観光案内所「うだ観処」において、観光案内員を配置し、観光地のPR活動を行う。また、英語以外の外国語パンフレット等の作成、英語版SNSでの情報発信、来訪の外国人観光客受け入れの体制を整える。
③記紀万葉推進事業においては、引き続き女性を主役とした企画のほか、星空イベントを行いPR活動を行う。

根拠条例等	
総合計画	基本計画　第5章　第4節　観光の振興

H30年度事業の概要

（千円）

項　目	金　額
団体旅行誘致	2,680
インバウンド関連（パンフ等）	500
観光客誘客案内事業委託料	4,046
記紀万葉推進事業	1,445
合　計	8,671

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

宇陀市の観光客を増やす施策を行い、団体客の増加を目的とした施策を継続して行う。また外国語によるパンフレットの作成のほか、記紀万葉推進事業においては、女性を主役にした事業を引き続き行い、新しい事業を企画し、誘客を図り交流人口を増やす。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	1,850
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	6,821
H30予算額	8,671
H29 当初予算額	9,361
H29 現計予算額	9,361
増減額	▲ 690

事　業　の　コ　ス　ト	平成28年度（実績）	平成29年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）	8,423	9,361
従事職員数【人工】	0.01	0.01
人件費（人工×8,000千円）	80	80
総事業費：人件費含む（千円）	8,503	9,441

【活動指標の根拠】 総合計画(行政評価) ・ 総合戦略 ・ その他(　　)

活動指標名	交流人口					
活動指標の算式	―					
活動指標の実績(見込)	1.0	単位	人	1.0	単位	人
単位当たりコスト　（円）	8,503,000			9,441,000		

特定財源の状況

地方創生推進交付金　1,850千円

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
1.にぎわいづくり創造プロジェクト
[観光振興 宇陀市の歴史的文化的資産の活用]
(4)観光誘致促進事業

平成 30 年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	大和高原スポーツツーリズム推進プロジェクト【全国還暦野球推進事業】（地方創生）

所管課	146	商工観光課	（農林商工部）

事業の目的	【「還暦野球の町」の推進】 還暦軟式野球大会を主催誘致することで、住民の健康・生きがい・交流を育む意識の高揚を図る。宇陀市を全国にPRするだけでなく、選手及び家族友人の来訪による市内宿泊施設等での消費につなげ、高齢者野球の側面から宇陀市の「まちおこし」を図る。またウェルネスの観点から、健康の象徴である還暦野球の選手たちを交えたイベントを開催し、健康を宇陀市内外にアピールする。平成30年度においては、ホットモットスタジアム球場にて象徴的な大会を行い、宇陀市を全国的にアピールする。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	2	総務費
項	1	総務管理費
目	18	地方創生総合事業費
細目	9	地方創生総合事業費（商工観光課）

根拠条例等	
総合計画	基本計画　第2章　第1節　健康づくりの推進

H30年度事業の概要	○宇陀市長杯大会ほか全6大会予定 ○延べ参加者数2,000人以上 ○大会ボランティアスタッフ延べ1,000人以上 ホットモットスタジアム球場で象徴的な大会を行い、宇陀市を全国にPRする。大学生軟式野球連盟の全国大会を誘致、市内消費を促すなど、地域の活性化と全国への宇陀市の観光PRを目指す。
事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）	還暦軟式野球大会の参加者による市内宿泊施設の利用及び飲食店・弁当店での消費が図られるほか、観光ポイントでの消費が期待できる。また遠方より来訪される選手に観光パンフレット等を配布するなど観光PRが進む。さらに、市内住民で編成されたチームの参加により地域の活性化が期待される。健康の大切さをPRし、高齢層の生きがいづくりにも役立つ。宇陀市の交流人口を増やすと同時に、にウェルネスシティを全国にPRすることができる。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	1,750
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	2,250
H30予算額	4,000
H29当初予算額	3,264
H29現計予算額	3,264
増減額	736

事　業　の　コ　ス　ト	平成28年度（実績）	平成29年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）	4,230	3,264
従事職員数【人工】	0.03	0.03
人件費（人工×8,000千円）	240	240
総事業費：人件費含む（千円）	4,470	3,504
【活動指標の根拠】 総合計画(行政評価) ・ 総合戦略 ・ その他(　　)		
活動指標名	交流人数	
活動指標の算式	―	
活動指標の実績(見込)	1 単位 人	1 単位 人
単位当たりコスト　（円）	4,470,000	3,504,000

特定財源の状況
地方創生推進交付金　1,750千円

備考	＜予算案のポイント＞ 【重点事業】 1.にぎわいづくり創造プロジェクト [地域経済の活性化] (5)大和高原スポーツツーリズム推進プロジェクト

平成 30 年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	大和高原スポーツツーリズム推進プロジェクト【自転車のまちづくり事業】（地方創生）

所管課	146	商工観光課	（農林商工部）

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	2	総務費
項	1	総務管理費
目	18	地方創生総合事業費
細目	9	地方創生総合事業費（商工観光課）

事業の目的	自転車で宇陀市の自然や景観を楽しむサイクルツーリズムを推進するため、近畿高校総体自転車競技の開催を契機として自転車のまちづくりを推進する。
根拠条例等	
総合計画	基本計画　第2章　第1節　健康づくりの推進

H30年度事業の概要	サイクリングを支援する店舗等と市が連携し、自転車用スタンド、空気入れの貸し出し等の提供を行い、快適に市内を回遊できるよう支援を行う。 またレンタサイクルを推進するため、より観光客が市内を周遊しやすいよう配置する。
事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）	自転車のまち宇陀をPRすることにより、交流人口の増加を図る。 平成28年度成果 啓発看板設置　1ヶ所 スタンド、空気入れ購入　各23台

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	700
H30予算額	700
H29当初予算額	500
H29現計予算額	500
増減額	200

事業のコスト	平成28年度（実績）	平成29年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）	864	500
従事職員数【人工】	0.01	0.01
人件費（人工×8,000千円）	80	80
総事業費：人件費含む（千円）	944	580

【活動指標の根拠】 総合計画(行政評価) ・ 総合戦略 ・ その他(　　)

活動指標名	設置箇所数					
活動指標の算式	―					
活動指標の実績(見込)	23	単位	箇所	8	単位	箇所
単位当たりコスト　（円）	41,043			72,500		

特定財源の状況

備考
＜予算案のポイント＞
【重点事業】
1.にぎわいづくり創造プロジェクト
[地域経済の活性化]
(5)大和高原スポーツツーリズム推進プロジェクト

平成 30 年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	大和高原スポーツツーリズム推進プロジェクト【登山道・ハイキングルート案内看板等整備事業】（地方創生）

所管課	146	商工観光課	（農林商工部）

事業の目的	東部振興の拠点を目指し、スポーツツーリズムによる誘客を図り、四季の風薫る宇陀市においてスポーツツーリズムの一層の充実を図る。

宇陀市一般会計予算

区分	No.	区分名
款	2	総務費
項	1	総務管理費
目	18	地方創生総合事業費
細目	9	地方創生総合事業費（商工観光課）

根拠条例等	
総合計画	基本計画　第2章　第1節　健康づくりの推進

H30年度事業の概要	スポーツツーリズムによる誘客を図るため、登山道・ハイキングルートの案内看板等の整備を行う。 消耗品費　300千円 印刷製本費　500千円
事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）	登山やハイキング、全国還暦野球大会を通したスポーツツーリズムによる誘客を図り、交流人口の拡大、地域の活性化を目指す。

財源の内訳　（単位：千円）

分担金	
使用料	
国　費	400
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	400
H30予算額	800
H29当初予算額	2,000
H29現計予算額	2,000
増減額	▲ 1,200

事業のコスト	平成28年度（実績）	平成29年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）		2,000
従事職員数【人工】		0.05
人件費（人工×8,000千円）		400
総事業費：人件費含む（千円）		2,400

【活動指標の根拠】 総合計画(行政評価) ・ 総合戦略 ・ その他(　　)

活動指標名	交流人数					
活動指標の算式	―					
活動指標の実績(見込)		単位		7	単位	人
単位当たりコスト　（円）				342,857		

特定財源の状況

地方創生推進交付金　400千円

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
1.にぎわいづくり創造プロジェクト
[地域経済の活性化]
(5)大和高原スポーツツーリズム推進プロジェクト

平成 30 年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	広域連携観光事業【DMO設置による】(地方創生)

所管課	146	商工観光課	（農林商工部）

事業の目的	宇陀、名張地域のおける観光事業について広域観光連携DMOを設立し、広域で連携して観光資源の発掘、調査を行う。特にインバウンド観光に力をいれるなど観光振興を図る。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	2	総務費
項	1	総務管理費
目	18	地方創生総合事業費
細目	9	地方創生総合事業費（商工観光課）

根拠条例等	
総合計画	基本計画　第5章　第4節　観光の振興

H30年度事業の概要	平成29年度に立ち上げた広域観光連携DMO（三重県名張市、奈良県宇陀市、曽爾村、御杖村、山添村、東吉野村）の負担金。 宇陀市負担金　7,000千円 事業概要　インバウンド観光を主とした観光商品・観光資源の発掘調査
事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）	宇陀名張地域の豊富な観光資源を活用し、広域観光、インバウンド観光の促進による観光客の増加や地域の活性化が図られる。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	3,500
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	3,500
H30予算額	7,000
H29当初予算額	7,000
H29現計予算額	7,000
増減額	

事　業　の　コ　ス　ト	平成28年度（実績）	平成29年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）		7,000
従事職員数【人工】		0.03
人件費（人工×8,000千円）		240
総事業費：人件費含む（千円）		7,240
【活動指標の根拠】 総合計画(行政評価) ・ 総合戦略 ・ その他(　　)		
活動指標名	観光入れ込み客数	
活動指標の算式	―	
活動指標の実績(見込)	単位	1,390,560　単位　人
単位当たりコスト　（円）		5

特定財源の状況
地方創生推進交付金　3,500千円

備考	＜予算案のポイント＞ 【重点事業】 1.にぎわいづくり創造プロジェクト [観光振興 宇陀市の歴史的文化的資産の活用] (3)DMO設立による広域連携観光事業

平成 30 年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	高齢者等サポート隊事業（地方創生）

所管課	127	介護福祉課	（健康福祉部）

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	2	総務費
項	1	総務管理費
目	18	地方創生総合事業費
細目	10	地方創生総合事業費（介護福祉課）

事業の目的

見守りが必要な在宅の高齢者等に対し、見守り、安否確認、身近な支え合いを行う行動組織として高齢者等見守り隊を編成し、高齢者等の孤独の解消及び安心感の提供並びに孤独死の防止を図り、もって高齢者の福祉の増進に資することを目的とする。

根拠条例等	高齢者等おしらせ隊実施要領、高齢者等サポート隊活動モデル事業実施要領
総合計画	基本計画　第2章　第6節　心豊かな地域福祉の充実

H30年度事業の概要

平成23年度から、高齢者等見守り隊の編成を行うべく、安心安全ネットワーク推進委員会にて検討。高齢者等サポート隊は市社会福祉協議会・地域包括支援センターが、それぞれ運営主体となり、平成24年度より実施している。

特に、高齢者等サポート隊は、モデル地域を中心に実践活動を行うことで、地域住民自身で地域の課題や問題点を把握し、高齢者等見守りマップの作成やサポート隊の養成・研修を行っており、市社会福祉協議会に委託している。

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

高齢者等サポート隊は、在宅の高齢者等に対し、高齢者等の孤独死の防止、見守り等を行っている。声掛け、見守り、安否確認等、身近な支え合いを目的とし、高齢者等の孤独死の防止、見守りを主に実施しており、現在45自治会に協力していただいている。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	500
H30予算額	500
H29 当初予算額	750
H29 現計予算額	750
増減額	▲ 250

事　業　の　コ　ス　ト	平成28年度（実績）	平成29年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）	521	750
従事職員数【人工】	0.05	0.05
人件費（人工×8,000千円）	400	400
総事業費：人件費含む（千円）	921	1,150
【活動指標の根拠】 総合計画（行政評価）・ 総合戦略 ・ その他（　　）		
活動指標名	協力自治会数	
活動指標の算式	―	
活動指標の実績(見込)	45 単位 自治会	45 単位 自治会
単位当たりコスト　（円）	20,467	25,556

特定財源の状況

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
5.市民安心安全プロジェクト
[暮らしの安心]
(5)高齢者等支援委託事業

平成 30 年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	女性のための就業支援事業（地方創生）

所管課	102	人権推進課	（市民環境部）

事業の目的

女性は、出産を機に退職する場合が多く、再就職も困難な状況にある。また、少子・高齢化の進展に伴い、生産年齢人口が減少していく中で、女性の就労を促進することがますます重要となっている。そのため、女性の能力を最大限発揮できるよう、地域の実情に合わせた女性の活躍促進に向けた就労支援を行う。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	2	総務費
項	1	総務管理費
目	18	地方創生総合事業費
細目	11	地方創生総合事業費（人権推進課）

根拠条例等	まち・ひと・しごと創生法　第10条
総合計画	基本計画　第4章　第2節　男女共同参画社会の実現

H30年度事業の概要

・女性のための就業支援事業

（千円）

・報償費　（セミナー時謝金）	220
・需要費　（テキスト代・チラシ印刷代）	71
合　計	291

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

【目標】＜女性のための就業支援事業＞
意欲のある女性が活躍できる環境を整備していくことは、労働力確保と経済を活性化する観点からも不可欠な課題となっているため、女性の活躍促進に向けた「女性の就職サポートセミナー」を開催し、女性の就業支援の充実を図る。
【成果】
・平成29年度セミナー参加者数　20名（2回実施）
マザーズハローワーク出張相談　6名
（参加者の多くは、30歳～40歳代の方で、託児利用での参加者もある。アンケートの結果は大変好評で、目的をもって働くことの大切さを知り、就職について前向きに考えて頂く機会となっている。また、参加者から続編を希望される声も得られた。）

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	291
H30予算額	291
H29当初予算額	364
H29現計予算額	364
増減額	▲ 73

事業のコスト	平成28年度（実績）	平成29年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）	338	223
従事職員数【人工】	0.20	0.20
人件費（人工×8,000千円）	1,600	1,600
総事業費：人件費含む（千円）	1,938	1,823

【活動指標の根拠】 総合計画(行政評価) ・ 総合戦略 ・ その他(　　)

活動指標名	セミナー受講者数					
活動指標の算式	―					
活動指標の実績(見込)	33	単位	人	20	単位	人
単位当たりコスト　（円）	58,727			91,150		

特定財源の状況

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
1.にぎわいづくり創造プロジェクト
[地域経済の活性化]
(7)女性のための就業支援事業

平成 30 年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	学校給食地産地消促進事業（地方創生）

所管課	621	学校給食センター	（教育委員会事務局）

事業の目的

元気な子どもづくりの推進のため「顔が見え、話ができる」市内の生産者達によって生産された、新鮮で安全な食材が確保できるとともに、園児・児童・生徒が、地域の自然・食文化・産業など、食材の生産・流通にあたる人達の努力をより身近に感じられ、心豊かで健康な生活の基礎を養うため、学校給食における地産地消を推進する。
また、生産者の方々にも学校給食に対する理解を深めてもらうとともに、学校と地域との連携・協力関係をより深くする。

宇陀市一般会計予算

区分	No.	区分名
款	2	総務費
項	1	総務管理費
目	18	地方創生総合事業費
細目	12	地方創生総合事業費（学校給食センター）

根拠条例等	宇陀市立学校給食センター条例
総合計画	基本計画　第4章　第3節　教育環境の整備・充実

H30年度事業の概要

地元産賄材料購入費（野菜・きのこ類）　1,500千円

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

学校給食地産地消率の増加・推進を図る。

学校給食地産地消率の推移（野菜・きのこ類の重量比較）　単位：kg

年度	全重量	市内産重量	地産地消率(%)
平成25年度	54,327.0	5,502.9	10.13%
平成26年度	49,906.7	5,266.3	10.55%
平成27年度	48,571.3	6,121.8	12.60%
平成28年度	43,993.2	8,440.2	19.19%

財源の内訳　（単位：千円）

分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	1,500
H30予算額	1,500
H29 当初予算額	1,500
H29 現計予算額	1,500
増減額	

事　業　の　コ　ス　ト	平成28年度（実績）	平成29年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）	1,500	1,500
従事職員数【人工】	0.10	0.10
人件費（人工×8,000千円）	800	800
総事業費：人件費含む（千円）	2,300	2,300
【活動指標の根拠】 総合計画(行政評価) ・ 総合戦略 ・ その他(　　)		
活動指標名	学校給食地産地消率（野菜・きのこ類の重量比較）	
活動指標の算式	市内産重量／全重量	
活動指標の実績(見込)	19.19 単位 %	20.00 単位 %
単位当たりコスト　（円）	119,854	115,000

特定財源の状況

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
4.こども未来創造プロジェクト
(20)学校給食地産地消促進事業

平成 30 年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	有害鳥獣対策事業（地方創生）

所管課	142	農林課	（農林商工部）

事業の目的	有害鳥獣による、農林産物等への被害拡大を防止する。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	2	総務費
項	1	総務管理費
目	18	地方創生総合事業費
細目	13	地方創生総合事業費（農林課）

根拠条例等	
総合計画	基本計画　第5章　第1節　農林業の活性化

H30年度事業の概要

（単位：千円）

項　目	金　額
鳥獣被害対策実施隊員報酬（17名×年間40千円）	680
有害鳥獣防除ライセンス取得等補助金（取得20名×10千円、継続102名×10千円）	1,220
有害鳥獣駆除事業（捕獲報償金6,050千円、集中捕獲8回800千円 捕獲委託料　340千円）	7,190
有害鳥獣駆除個体処理事業	2,803
合　計	11,893

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律に基づき、農林作物に甚大な被害をもたらす有害鳥獣の生息数を適正に管理するため、宇陀市鳥獣被害防止計画により捕獲体制を整え、捕獲推進を図るとともに、捕獲者への奨励及び実施隊による組織強化や捕獲者の育成を図る。

また、道路等公共用地での事故死による個体など、衛生的に処分する必要があるものについては、火葬処理を行う。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	2,525
市　債	
その他	
一般財源	9,368
H30予算額	11,893
H29当初予算額	10,538
H29現計予算額	10,538
増減額	1,355

事　業　の　コ　ス　ト	平成28年度（実績）	平成29年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）	12,025	10,538
従事職員数【人工】	1.00	1.00
人件費（人工×8,000千円）	8,000	8,000
総事業費：人件費含む（千円）	20,025	18,538

【活動指標の根拠】 総合計画(行政評価) ・ 総合戦略 ・ その他(　　)

活動指標名	有害鳥獣の捕獲・処理頭数					
活動指標の算式	―					
活動指標の実績(見込)	1,105	単位	頭	1,050	単位	頭
単位当たりコスト　（円）	18,122			17,655		

特定財源の状況

鳥獣被害防除事業補助金　170千円
森林植生保全事業補助金　2,355千円

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
1.にぎわいづくり創造プロジェクト
[農林業・商工業の振興]
(6)有害鳥獣対策の推進

平成 30 年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	宇陀市産木材利用促進事業（地方創生）

所管課	142	農林課	（農林商工部）

事業の目的	建築物等の施工において宇陀市産木材の利用者に対し、ウッピー商品券の交付を行い、市産木材の利用促進及び経済の活性化を図る。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	2	総務費
項	1	総務管理費
目	18	地方創生総合事業費
細目	13	地方創生総合事業費（農林課）

根拠条例等	宇陀市経済対策としての市産木材利用促進事業商品券交付要綱
総合計画	基本計画　第5章　第1節　農林業の活性化

H30年度事業の概要

自己の用に供する建築物及び建築物と一体的かつ長期的に利用する建具・家具及び外構に市産木材を利用した場合、対象建築物等の施工地に応じ、木材購入費の1/2をウッピー商品券により助成する。
市内 （上限 100,000円）
市外 （上限 50,000円）
事業費 1,500,000円

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

実績

年度	件数
平成 25 年度	10件
平成 26 年度	15件
平成 27 年度	25件
平成 28 年度	19件

財源の内訳 （単位：千円）	
分担金	
使用料	
国費	
県費	
市債	
その他	
一般財源	1,500
H30予算額	1,500
H29 当初予算額	2,000
H29 現計予算額	2,000
増減額	▲ 500

事業のコスト	平成28年度（実績）	平成29年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）	1,290	2,000
従事職員数【人工】	0.03	0.03
人件費（人工×8,000千円）	240	240
総事業費：人件費含む（千円）	1,530	2,240

【活動指標の根拠】 総合計画(行政評価) ・ 総合戦略 ・ その他(　　)

活動指標名	申請件数					
活動指標の算式	―					
活動指標の実績(見込)	19	単位	件	20	単位	件
単位当たりコスト （円）	80,526			112,000		

特定財源の状況

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
1.にぎわいづくり創造プロジェクト
[地域経済の活性化]
(3)宇陀市産木材利用促進事業補助金

平成 30 年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	まちづくり連携協定基本計画策定事業（地方創生）

所管課	161	まちづくり推進課	（建設部）

事業の目的

人口の急激な減少と高齢化を背景に、住民が安心できる健康で快適な生活環境を実現することが重要であり、地域性を活かした賑わいのある住みよいまちづくりを進めるため、奈良県と締結したまちづくりに関する包括協定に定めた拠点について、基本協定の締結を受け、持続的発展や活性化を企図したまちづくりのため、基本計画の策定を行う。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	2	総務費
項	1	総務管理費
目	18	地方創生総合事業費
細目	14	地方創生総合事業費（まちづくり推進課）

根拠条例等	
総合計画	後期基本計画　第3章　第1節　定住拠点の構築

H30年度事業の概要

基本協定を締結した地区について、早期に各地区における事業の具現化を図るため次のステップである基本計画を策定する。

基本計画策定業務（菟田野・室生地域）

（千円）

旅費	30
需用費	66
役務費	20
委託料	25,500
合計	25,616

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

宇陀市まち・ひと・しごと創生総合戦略における小さな拠点づくりとして定めた4地区の賑わいづくりに資する取組として、地域と県、市が共通の目的の下、役割分担をしながら一体となって事業を展開することで、効率的にまちづくりを推進できる。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	12,750
市　債	
その他	7,550
一般財源	5,316
H30予算額	25,616
H29 当初予算額	53,220
H29 現計予算額	53,220
増減額	▲ 27,604

事　業　の　コ　ス　ト	平成28年度（実績）	平成29年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）	53,553	30,220
従事職員数【人工】	3.00	3.00
人件費（人工×8,000千円）	24,000	24,000
総事業費：人件費含む（千円）	77,553	54,220

【活動指標の根拠】 総合計画(行政評価) ・ 総合戦略 ・ その他(　　)

活動指標名	行政区域内人口					
活動指標の算式	―					
活動指標の実績(見込)	31,460	単位		31,000	単位	
単位当たりコスト　（円）	2,465			1,749		

特定財源の状況

市町村とのまちづくり検討事業補助金　12,750千円
ふるさと応援基金繰入金　7,550千円

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
3.住みよい地域創造プロジェクト
（1）まちづくり連携協定基本計画策定事業

平成 30 年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	奈良県市町村税納税コールセンター運営実行委員会負担金

所管課	64	徴収対策課	（企画財政部）

事業の目的	現年度課税分の市県民税、固定資産税、軽自動車税、国民健康保険税で、納期限経過後に未納となっている納税者に対して、自主納付の呼びかけを電話で行い、早期納付による収納率の向上及び累積滞納を未然に防止することを目的とする。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	2	総務費
項	2	徴税費
目	3	徴収対策費
細目	1	本庁徴収対策費

根拠条例等	地方税法、国税徴収法、宇陀市税条例、宇陀市国民健康保険税条例
総合計画	基本計画　第6章　第4節　行財政改革の推進

H30年度事業の概要	平成28年度から「奈良モデル」の取り組みとして、奈良県・大和高田市・五條市・葛城市・宇陀市・三郷町・斑鳩町・上牧町からなる構成団体で「奈良県市町村税納税コールセンター運営実行委員会」を設立し、当委員会からコールセンター業務を民間業者に委託している。 宇陀市負担額　1,037千円 県　1/2 7市町 1/2（人口按分等による負担割合）
事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）	新たな滞納者を生み出さないという観点から、現年度課税分における未納者を対象として、早期に電話による「自主納付の呼び掛け」を行うものであり、次のような効果が期待できる。 ●県と市町村とが共同で取り組むことにより、コストの低減を図ることができ、単独での設置が困難な団体でも活用が可能となる。 ●早期収納の実現により、軽易な案件に係る催告書等の発送件数が減少し、通信運搬費等の経費削減につながる。 ●困難案件等への対応に集中することにつながり徴収率アップが期待できる。 ●納付困難者に対して、福祉部局との連携による適切な納税者対応が実現できる。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	1,037
H30予算額	1,037
H29当初予算額	1,100
H29現計予算額	1,100
増減額	▲ 63

事　業　の　コ　ス　ト	平成28年度（実績）	平成29年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）		1,100
従事職員数【人工】		0.25
人件費（人工×8,000千円）		2,000
総事業費：人件費含む（千円）		3,100
【活動指標の根拠】 総合計画(行政評価) ・ 総合戦略 ・ その他(　　)		
活動指標名	架電依頼件数	
活動指標の算式	―	
活動指標の実績(見込)	単位	1,500　単位　件
単位当たりコスト　（円）		2,067

特定財源の状況

備考	＜予算案のポイント＞ 【重点事業】 6.改革改善プロジェクト (1)歳入面からの改革改善の取組み

平成 30 年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	マイナンバーカードを利用したコンビニ交付事業

所管課	100	市民課	（市民環境部）

事業の目的

個人番号カードの公的個人認証部分を活用して、日本全国のコンビニ等の店舗内に設置しているキオスク端末からの住民票謄・抄本、戸籍謄・抄本、印鑑登録証明書、戸籍附票、記載事項証明書のにより、住民サービスの向上と窓口混雑の解消に繋げる。

宇陀市一般会計予算

区分	No.	区分名
款	2	総務費
項	3	戸籍住民基本台帳費
目	1	戸籍住民基本台帳費
細目	1	本庁戸籍住民基本台帳費

根拠条例等	電子署名等に係る地方公共団体情報システム機構の認定業務に係る法律
総合計画	基本計画　第6章　第2節　行政サービスの向上

H30年度事業の概要

内容	金額（千円）
コンビニ交付システムにおける旧姓併記対応改修委託料	3,219
コンビニ交付システム保守料	5,768
コンビニ交付証明書サービス運営負担金	2,200
コンビニ交付取扱手数料等	164
合計	11,351

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

市役所まで出向く必要がなく自宅や職場等の最寄りのコンビニ等の店舗で証明書（住民票・印鑑登録証明書・戸籍・戸籍附票・記載事項証明書）の交付サービスが受けられることにより、住民サービスの向上と窓口混雑の解消が図れる。

財源の内訳　（単位：千円）

分担金	
使用料	322
国　費	
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	11,029
H30予算額	11,351
H29 当初予算額	36,449
H29 現計予算額	37,356
増減額	▲ 25,098

事業のコスト	平成28年度（実績）	平成29年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）		37,356
従事職員数【人工】		0.15
人件費（人工×8,000千円）		1,200
総事業費：人件費含む（千円）		38,556

【活動指標の根拠】 総合計画（行政評価） ・ 総合戦略 ・ その他（　　）

活動指標名	証明書発行枚数					
活動指標の算式	―					
活動指標の実績(見込)		単位		178	単位	枚
単位当たりコスト　（円）				216,607		

特定財源の状況

コンビニ交付戸籍手数料　31千円
コンビニ交付住民手数料　153千円
コンビニ交付事務手数料　138千円

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
6.改革改善プロジェクト
(3)その他の行政改革